

小牧市
子ども・子育てに関する
アンケート調査
【結果報告書】

令和6年4月
小牧市

目次

I. 調査概要	3
調査の目的	3
調査対象及び調査方法	3
報告書の見方	3
II. 調査結果の概要	5
1. 未就学児童・就学児童調査結果の概要	5
2. 一般成人調査結果の概要	8
III. 調査結果	9
1. お子さんご家族の状況について	9
2. お子さんの保護者の就労状況について	15
3. 平日の定期的な幼稚園や保育園等の利用状況・利用希望について	23
4. 地域の子育て支援事業等の利用状況について	31
5. 土曜・日曜日・祝日や幼稚園の夏休みなどの幼稚園や保育園等の利用状況について	34
6. 病気の際の対応や、不定期な一時預かり等について	37
7. 放課後の過ごし方について	46
8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	57
9. 公立保育園と私立保育園について	60
10. 保育料無償化について	61
11. 子育てをめぐる環境や市に期待する子育て施策について	62
IV. 調査結果	69
1. あなたご自身について	69
2. 結婚観について	71
3. 子育てについて	74
4. 仕事や家庭生活について	79
5. 保育料無償化について	80
6. 地域の中での子育てについて	82
V. その他回答・自由記述	89
1. その他の回答（未就学児童調査・就学児童調査）	89
2. その他の回答（一般成人調査）	106
3. 子育てをする上で求めるサポート（一部抜粋）	114
4. 理想とする少子化対策（一部抜粋）	122
5. 子育ての環境や支援に関するご意見（一部抜粋）	124

I. 調査概要

調査の目的

本調査は、「小牧市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画を策定するにあたり、保育や子育て支援サービスなどのニーズ量の把握とともに、子育て世帯の就労実態や要望などを把握し、計画策定の基礎資料としていくことを目的として実施しました。

調査対象及び調査方法

- 調査地域：小牧市全域
- 調査対象者：市内在住の未就学児童の保護者（未就学児童調査）1,500人
市内在住の小学生児童の保護者（就学児童調査）1,500人
市内在住の20歳～40歳の方（一般成人調査）1,500人
- 調査期間：令和6年2月22日（木）～令和6年3月14日（木）
- 調査方法：郵送配布、WEB回答による調査【未就学児童・一般成人】
小学校を通じての調査票配布、WEB回答による調査【就学児童】

	調査対象者数 (配布数) (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
未就学児童	1,500	769	51.3
就学児童	1,500	593	39.5
一般成人	1,500	378	25.2
合計	4,500	1,740	38.7

報告書の見方

- ・ 図表中の「n」はアンケートの集計対象者数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の選択肢ごとの割合を示しているため、合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ 選択肢の見出しが長い文は簡略化してある場合があります。
- ・ 本報告書内においては、調査の名称はそれぞれ「未就学児童調査」「就学児童調査」「一般成人調査」とし、回答者を表すときは「未就学児童」「就学児童」「一般成人」と表記しています。

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 未就学児童・就学児童調査結果の概要

(1) 子育ての状況について

子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が未就学児童の保護者、就学児童の保護者ともに最も高くなっています。

子育てに関して日常悩んでいることや気になることは、就学児童の保護者では「子どもの教育に関すること」「子どもとの時間を十分にとれないこと」「子どもを叱りすぎているような気がする」と高くなっており、子どもの教育や子どもとの接し方についての回答が多くなっています。未就学児の保護者では、「病気や発育・発達に関すること」「食事をなかなか食べてくれないこと」「子どもの教育に関すること」が高くなっており、主に発育に関する回答が多くなっています。

(2) 保護者の就労状況について

未就学児の母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.9%と最も高くなっています。また産休・育休・介護休業中の割合は20.8%となっていますが、産休・育休・介護休業中でない割合は46.1%となっており、休業せず子育てをしている母親が多くなっています。

就学児童の保護者では、産休・育休・介護休業中の割合は2.6%となっていますが、産休・育休・介護休業中でない割合は78.9%となっており、就労しながら子育てをしている母親が多くなっています。

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望は、未就学児の母親で34.2%となっており、そのうち実現できる見込みがある人は8.8%となっています。パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している割合は62.3%となっています。

現在就労していない母親の就労希望は、未就学児の母親では「1年後より先に働きたい」が46.4%で最も高くなっており、将来的な就労を希望する回答が多くなっています。就学児童の母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が36.9%と「1年後より先に働きたい」の22.3%より高くなっており、早期の就労を希望する意見が多くなっています。希望する就労形態は、未就学児・就学児童の母親ともパートタイム・アルバイト等が8割以上となっています。

(3) 幼稚園や保育園等の施設・サービスの利用状況について

幼稚園や保育園等を現在定期的に利用している人のうち、利用している施設やサービスは「保育園」が46.1%と最も高くなっており、次いで「幼稚園」が39.9%となっています。1週当たりの利用日数は「5日」が89.3%と最も高く、また利用日数や利用時間は希望通りであるとの回答が92.4%となっており、希望通りに利用できている人がほとんどとなっています。

お子さんが病気やケガで保育サービスが利用できなかったことがあると答えた割合は未就学児童で68.8%と、約7割があると回答しています。そのときに行った対処方法は、「母親が休んだ」が80.6%で最も高くなっており、次いで「父親が休んだ」が31.7%となっています。「病児・病後児の保育を利用した」は2.3%、「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」は0.0%となっており、これらのサービスはほとんど利用されていません。

(4) 地域の子育て支援拠点事業等の利用状況について

地域の子育て支援拠点事業等の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業」を利用している割合が50.1%、「利用していない」が49.2%と約半数が利用している状況となっています。今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が51.9%で最も高くなっており、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が24.4%となっているため、今後の利用日数はあまり増加しないと見込まれます。

子育て支援事業の認知度や利用状況、今後の利用意向については、主に「保健センターの教室・相談サービス」「児童館」「子育て世代包括支援センター」「子育て家庭優待事業（はぐみんカード）」が高くなっています。

(5) 土曜・日曜日・祝日の幼稚園や保育園等の利用意向について

土曜・日曜日・祝日の定期的な幼稚園や保育園等の利用希望については、「利用する必要はない」が7割から8割となっていますが、「月に1～2回は利用したい」「ほぼ毎週利用したい」の合計が約2割となっており、一定のニーズがある状況となっています。また、利用を希望する時間帯は「8時」から「18時」が多くなっています。利用したい理由については「月に数回仕事が入るため」が65.8%と最も高くなっており、次いで「リフレッシュのため」が36.7%となっています。

(6) 子どもの放課後や休日の過ごし方について

5歳以上の未就学児の、小学校のうちの放課後の時間の過ごしせ方の希望は、低学年時、高学年時ともに「自宅」「習い事」が高くなっており、低学年では「放課後児童クラブ」が高学年より高くなっています。

就学児童の子どもの放課後・休日の時間の過ごしせ方の希望は、「友達と自由に過ごす」「自宅で自由に過ごす」「自宅で学習や読書」が高くなっています。

就学児童の子どもと一緒に過ごす休日の時間は十分かについては、「十分だと思う」「どちらかといえば十分だと思う」の合計が9割となっており、ほとんどの方が十分と感じています。子どもが塾や習い事で多忙だと思うかについては、「思う」が21.6%、「思わない」が69.5%となっています。多忙だと思う理由については、「自分の子どもの頃に比べると多忙に感じる」が71.1%で最も高くなっており、次いで「睡眠が不足しているように感じる」が25.0%となっています。

(7) 公立保育園と私立保育園について

保育園等の施設の特徴やちがいを知っているかについては、未就学児・就学児童の保護者ともに「知らない」が半数以上となっています。また、保育園等の公立と私立の施設のちがいを感ずるかは「わからない」が、私立の施設では延長保育等が充実していることを知っているかは「知らない」がそれぞれ半数以上となっていることから、公立保育園と私立保育園のちがいを知っている保護者は少ないことがわかります。

(8) 育児休業や保育園の無償化について

育児休業の取得割合は、母親が45.6%、父親が19.6%となっており大きく差が出ています。また、取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった」が高くなっているのに対し、父親では「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が高くなっています。

市独自の施策である保育料の無償化については、「知っている」が81.1%と未就学児の保護者8割に認知されています。無償化の情報をどこで知ったかについては、「市ホームページ」が39.3%と最も高く、次いで「友人・知人から」が35.1%となっています。保育料の無償化が少子化対策に効果的であると思うかは、「とても効果的である」が36.2%、「効果的である」が30.4%と肯定的な回答が大半を占めています。

(9) 子育て支援の施策について

子育て支援に関して、市の施策として期待することは、未就学児・就学児童の保護者ともに「家庭への経済的な支援」「子育てしやすいまちの環境面の充実」「様々な遊びや体験の場の整備」が高くなっています。また特に期待することとしては、家庭への経済的な支援では「高等学校の入学もしくは進学に必要な費用の支援（制服代、学費など）」が、子育てしやすいまちの環境面の充実では「保育施設・サービスの充実」が高くなっています。

2. 一般成人調査結果の概要

(1) 結婚観について

「結婚をするかしないかは、個人の自由である」ということについては、「とても思う」が85.2%、「やや思う」が13.5%を占めており、肯定的な意見がほとんどとなっています。「結婚は人生の中の1つの大きな節目であり、社会人としての自覚が高まる」「結婚することによって、心のやすらぎや充実感が得られる」「結婚することによって、仕事や家事などの面で責任や負担が重くなる」についても、肯定的な回答が大半となっています。

「結婚することによって、それまで以上に社会的信用が高まる」「一定年齢に達すれば結婚するのが自然である」については、肯定的な回答と否定的な回答の割合が拮抗する結果となっています。

晩婚化・非婚化の傾向の理由については、「結婚しなくても不便を感じない」「独身生活の方が自由である」「家事・育児に対する女性の負担、拘束感が大きい」が高くなっており、ライフスタイルや価値観の変化についての回答が多くなっています。

(2) 子育てについて

出生率の低下の原因については、「経済的負担が大きいから」が87.3%で最も高くなっており、経済的負担が出生率低下の原因と考える人が多くなっています。その他では、「仕事と子育ての両立が困難だから」「精神的・肉体的負担が大きいから」「結婚しない人が増えたから」が多くなっています。

理想とする子どもの人数は、「2人」が最も高く、次いで「3人」となっていますが、理想とする子どもの数と実際の子どもの数の違いは、47.9%が「理想よりも実際の子どもの数の方が少ない」と回答しています。

どのようなことがあれば子どもが欲しいと思うかについては、「将来の教育費に対する補助」「妊娠・出産に伴う医療費の補助」が多くなっており、子育てにかかる経済的負担の軽減が求められています。

(3) 仕事や家庭生活について

生活の中の「仕事」と「家庭生活」などの優先度は、現実では「家庭」が49.2%、「仕事」が29.1%となっていますが、希望としては「家庭」が49.5%、「自分の時間」が38.4%、「仕事」が6.3%となっており、現実では仕事を優先せざるを得ない人が多くなっています。

子育てと仕事の両立を図りやすくするために、職場（企業）がすべき環境整備については、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」など、休暇や働き方に関する回答が多くなっています。

(4) 保育料無償化について

保育料の無償化については、「知っている」が40.2%となっています。無償化の情報をどこで知ったかについては、「友人・知人から」「市ホームページ」が多くなっています。保育料の無償化が少子化対策に効果的であると思うかは、「とても効果的である」「効果的である」の合計が約7割となっており、肯定的な回答が大半を占めています。

(5) 地域の中での子育てについて

児童虐待の予防のために、どのようなことができるかについては、「市役所や児童相談所へ電話（通報）する」「自分のまわりの親子に意識を向ける」が高くなっています。

児童の望ましいと思う放課後の過ごし方については、「友達と自由に過ごす」「部活動に参加する」「児童クラブに行く」が多くなっています。

児童が健全に成長するために、地域に期待することについては、「登下校の安全確認や非行防止活動を行う」「学校の放課後活動を支援する」「気軽に情報交換や相談ができる場や子育てサークルなどを主催し、保護者の子育てを支援する」が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果(未就学児童調査・就学児童調査)

1. お子さんご家族の状況について

未就 Q1	就学 Q1	お住まいの地区はどちらですか。中学校区がわからない方は「その他」を選択していただき、町字名をお答えください。	1つ選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	小牧中学校区	146	19.0	106	17.9
2	味岡中学校区	118	15.3	89	15.0
3	篠岡中学校区	18	2.3	25	4.2
4	北里中学校区	101	13.1	94	15.9
5	応時中学校区	137	17.8	85	14.3
6	岩崎中学校区	73	9.5	46	7.8
7	桃陵中学校区	50	6.5	74	12.5
8	小牧西中学校区	52	6.8	39	6.6
9	光ヶ丘中学校区	37	4.8	33	5.6
10	その他	37	4.8	2	0.3

0% 15% 30% 0% 15% 30%

居住地区についてみると、「小牧中学校区」が未就学児童で19.0%、就学児童で17.9%と最も高く、次いで未就学児童では「応時中学校区」が17.8%、就学児童では「北里中学校区」が15.9%となっています。

未就 Q2	就学 Q2	あて名のお子さんの生年月をお答えください。(令和5年度1月現在)	数字を 入力
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)		件数	割合(%)
1	0歳児	153	19.9	小学1年生	88	14.8
2	1歳児	129	16.8	小学2年生	113	19.1
3	2歳児	121	15.7	小学3年生	85	14.3
4	3歳児	88	11.4	小学4年生	124	20.9
5	4歳児	118	15.3	小学5年生	90	15.2
6	5歳児	96	12.5	小学6年生	93	15.7
7	6歳児	64	8.3			

0% 15% 30% 0% 15% 30%

子どもの年齢についてみると、未就学児童では「0歳児」が19.9%、「1歳児」が16.8%、「2歳児」が15.7%となっています。

就学児童では「小学4年生」が20.9%、「小学2年生」が19.1%、「小学6年生」が15.7%となっています。

未就 Q3 (全員)	就学 Q3	お子さんは何人いらっしゃいますか。 ※あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。	数字を 入力
------------------	----------	---	-----------

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1人	298	38.8	108	18.2
2	2人	338	44.0	300	50.6
3	3人	106	13.8	145	24.5
4	4人	19	2.5	23	3.9
5	5人	6	0.8	12	2.0
6	6人	1	0.1	3	0.5
7	7人	1	0.1	2	0.3

0% 100% 0% 100%

子どもの人数についてみると、「2人」が未就学児童で44.0%、就学児童で50.6%と最も高く、次いで未就学児童では「1人」が38.8%、就学児童では「3人」が24.5%となっています。

未就 Q4 (全員)	就学 Q4	この調査票にご回答いただく方はどなたですか。 ※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。	1つ 選択
------------------	----------	--	----------

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	母親	679	88.3	522	88.0
2	父親	87	11.3	70	11.8
3	その他	3	0.4	1	0.2

0% 100% 0% 100%

回答者についてみると、「母親」が未就学児童で88.3%、就学児童で88.0%となっています。

未就 Q5 (全員)	就学 Q5	この調査票にご回答いただいている方は配偶者・パートナーがいますか。	1つ 選択
------------------	----------	-----------------------------------	----------

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	いる	736	95.7	550	92.7
2	いない	33	4.3	43	7.3

0% 100% 0% 100%

回答者の配偶者・パートナーの有無についてみると、「いる」が未就学児童で95.7%、就学児童で92.7%となっています。

未就 Q6 (全員)	就学 Q6	あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。	1つ 選択

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	父母ともに	433	56.3	335	56.5
2	主に母親	329	42.8	246	41.5
3	主に父親	4	0.5	8	1.3
4	主に祖父母	1	0.1	3	0.5
5	その他	2	0.3	1	0.2

0% 100% 0% 100%

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が未就学児童で 56.3%、就学児童で 56.5%と最も高く、次いで「主に母親」が未就学児童で 42.8%、就学児童で 41.5%となっています。

未就 Q7 (全員)	就学 Q7	あて名のお子さんとの同居・近居(おおむね 30 分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお答えください。	あてはまるもの すべて選択

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	父母ともに同居	669	87.0	495	83.5
2	父が同居(ひとり親家庭)	2	0.3	2	0.3
3	父が同居(母が単身赴任中)	-	-	1	0.2
4	母が同居(ひとり親家庭)	25	3.3	28	4.7
5	母が同居(父が単身赴任中)	15	2.0	13	2.2
6	祖父母が同居	84	10.9	64	10.8
7	祖父母が近くに住んでいる	316	41.1	254	42.8
8	その他	25	3.3	10	1.7

0% 100% 0% 100%

子どもとの同居・近居の状況についてみると、「父母ともに同居」が未就学児童で 87.0%、就学児童で 83.5%と最も高く、次いで「祖父母が近くに住んでいる」が未就学児童で 41.1%、就学児童で 42.8%となっています。

未就 Q8	就学 Q8	子育てに関して、日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。	あてはまるもの すべて選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	特になし	225	29.3	173	29.2
2	病気や発育・発達に関すること	216	28.1	97	16.4
3	食事をなかなか食べてくれないこと	171	22.2	55	9.3
4	子育ての方法がよくわからないこと	52	6.8	24	4.0
5	子どもとの接し方に自信が持てないこと	117	15.2	66	11.1
6	子どもとの時間を十分にとれないこと	121	15.7	128	21.6
7	話し相手や相談相手がいないこと	26	3.4	28	4.7
8	子どもの親同士の付き合いに関すること	73	9.5	62	10.5
9	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	152	19.8	96	16.2
10	子どもの教育に関すること	154	20.0	202	34.1
11	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	77	10.0	116	19.6
12	不登校などの問題に関すること	14	1.8	31	5.2
13	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	53	6.9	54	9.1
14	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	49	6.4	48	8.1
15	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること	19	2.5	15	2.5
16	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	62	8.1	38	6.4
17	子どもを叱りすぎているような気がする	149	19.4	122	20.6
18	子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうなど、子どもにとって安心できるような家庭でないような気がする	13	1.7	13	2.2
19	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	31	4.0	18	3.0
20	その他	17	2.2	10	1.7

子育てをする上での悩みについてみると、未就学児童では「病気や発育・発達に関すること」が28.1%と最も高く、次いで「食事をなかなか食べてくれないこと」が22.2%となっています。

就学児童では「子どもの教育に関すること」が34.1%と最も高く、次いで「子どもとの時間を十分にとれないこと」が21.6%となっています。

また「特になし」は未就学児童で29.3%、就学児童で29.2%となっています。

未就	就学	条件 Q8で、「2.」～「20.」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
Q9	Q9	子育てに関する悩みや不安を誰(どこ)に相談していますか。	
(条件)			

No.	項目	未就学児童 (n=544)		就学児童 (n=420)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	相談相手がない	9	1.7	22	5.2
2	配偶者・パートナー	397	73.0	296	70.5
3	その他の親族(親・きょうだいなど)	343	63.1	217	51.7
4	隣近所の人・地域の知人・友人	179	32.9	205	48.8
5	職場の人	97	17.8	109	26.0
6	幼稚園・保育園等、学校などの保護者の仲間	89	16.4	60	14.3
7	子育てサークルの仲間	9	1.7	2	0.5
8	保育士・幼稚園の先生・学校の先生	113	20.8	40	9.5
9	医師・保健師・看護師・栄養士	29	5.3	10	2.4
10	家庭児童相談室	1	0.2	1	0.2
11	子育て世代包括支援センター	63	11.6	6	1.4
12	児童館	73	13.4	7	1.7
13	子育てサロンなど(親子のつどいの場)	6	1.1	-	-
14	母子自立支援員	1	0.2	-	-
15	民生・児童委員・主任児童委員	-	-	-	-
16	保健センター	33	6.1	4	1.0
17	保健所	-	-	-	-
18	児童相談所	1	0.2	2	0.5
19	民間の電話相談	-	-	2	0.5
20	その他	14	2.6	9	2.1
21	不明・無回答	6	1.1	5	1.2

悩みや不安を相談する相手についてみると、「配偶者・パートナー」が未就学児童で73.0%、就学児童で70.5%と最も高く、次いで「その他の親族(親・きょうだいなど)」が未就学児童で63.1%、就学児童で51.7%となっています。

また「相談相手がない」は未就学児童で1.7%、就学児童で5.2%となっています。

未就 Q11	就学 Q11	【未就学児童】あなたは、お子さんの小学校入学について、何か不安はありますか。 【就学児童】あなたは、お子さんの小学校入学について、何か不安はありましたか。	あてはまるもの すべて選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	特にな	179	23.3	164	27.7
2	他人とのコミュニケーションがとれるか	239	31.1	186	31.4
3	授業をじっと聞いてられるか	201	26.1	103	17.4
4	学校生活を過ごすための体力があるか	57	7.4	32	5.4
5	給食などでアレルギーが出ないか	32	4.2	18	3.0
6	今までの友達と離れてもやっていけるか	94	12.2	74	12.5
7	クラスのなかになじめるかどうか	287	37.3	247	41.7
8	クラスのなかでいじめられないか	229	29.8	137	23.1
9	登下校時などに交通事故にあわないか	349	45.4	184	31.0
10	児童クラブ等の利用ができるか	135	17.6	33	5.6
11	自分が学校の行事等に参加できるか	68	8.8	33	5.6
12	自分の勤務時間・雇用形態などに変更がないか	114	14.8	42	7.1
13	その他	23	3.0	19	3.2

小学校入学にあたっての不安についてみると、未就学児童では「登下校時などに交通事故にあわないか」が45.4%と最も高く、次いで「クラスのなかになじめるかどうか」が37.3%となっています。

就学児童では「クラスのなかになじめるかどうか」が41.7%と最も高く、次いで「他人とのコミュニケーションがとれるか」が31.4%となっています。

また「特にな」は未就学児童で23.3%、就学児童で27.7%となっています。

2. お子さんの保護者の就労状況について

未就 Q12	就学 Q12	あて名のお子さんの <u>母親</u> の就労状況(自営業、家族従事者含む)について 教えてください。 ※父子家庭の場合は「父親のみ(父子家庭)」を選択してください。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	149	19.4	188	31.7
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	137	17.8	11	1.9
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	205	26.7	280	47.2
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	23	3.0	4	0.7
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	238	30.9	93	15.7
6	これまで就労したことがない	12	1.6	10	1.7
7	父親のみ(父子家庭)	5	0.7	6	1.0
8	不明・無回答	-	-	1	0.2

母親の就労状況についてみると、未就学児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.7%となっています。

就学児童では「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.2%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.7%となっています。

未就	就学	条件	Q12で、「1.」～「4.」(就労している)を選択した	数字を 入力
Q13	Q13	母親の週あたりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間(残業時間を含む)」		
(条件)		をお答えください。		

【1週あたりの就労日数】

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=514)		就学児童 (n=483)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	2	0.4	1	0.2
2	2日	14	2.7	14	2.9
3	3日	51	9.9	60	12.4
4	4日	86	16.7	123	25.5
5	5日	346	67.3	265	54.9
6	6日	13	2.5	18	3.7
7	7日	2	0.4	2	0.4
8	不明・無回答	-	-	-	-

【1週あたりの就労時間】

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=514)		就学児童 (n=483)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	4時間以下	67	13.0	87	18.0
2	5時間	60	11.7	79	16.4
3	6時間	82	16.0	73	15.1
4	7時間	58	11.3	67	13.9
5	8時間	182	35.4	121	25.1
6	9時間以上	65	12.6	56	11.6

母親の就労日数・就労時間についてみると、就労日数は「5日」が未就学児童で67.3%、就学児童で54.9%と最も高く、次いで「4日」が未就学児童で16.7%、就学児童で25.5%となっています。就労時間は「8時間」が未就学児童で35.4%、就学児童で25.1%と最も高く、次いで未就学児童では「6時間」が16.0%、就学児童では「4時間以下」が18.0%となっています。

未就	就学	条件	Q12で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選択した方	1つ 選択
Q14	Q14	母親のフルタイムへの転換希望はありますか。		
(条件)				

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=228)		就学児童 (n=284)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	20	8.8	21	7.4
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	58	25.4	74	26.1
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	142	62.3	179	63.0
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	8	3.5	10	3.5

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等(「フルタイム以外」)の就労を続けることを希望」が未就学児童で62.3%、就学児童で63.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない」が未就学児童で25.4%、就学児童で26.1%となっています。

未就	就学	条件 Q12 で、「5.」「6.」(就労していない)を選択した方	1つ 選択
Q15	Q15	母親の就労希望はありますか。	
(条件)			

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=250)		就学児童 (n=103)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	働く予定はない(子育てや家事などに専念したい・働くことができないなど)	63	25.2	42	40.8
2	1年後より先に働きたい	116	46.4	23	22.3
3	すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	71	28.4	38	36.9

現在就労していない方の就労希望についてみると、未就学児童では「1年後より先に働きたい」が46.4%、就学児童では「働く予定はない」が40.8%と最も高くなっています。

【子どもが何歳になったところに就労を希望するか】

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=116)		就学児童 (n=23)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1歳	9	7.8	-	-
2	2歳	8	6.9	1	4.3
3	3歳	42	36.2	-	-
4	4歳	21	18.1	2	8.7
5	5歳	5	4.3	1	4.3
6	6歳	14	12.1	2	8.7
7	7歳	8	6.9	1	4.3
8	8歳	5	4.3	4	17.4
9	9歳	-	-	3	13.0
10	10歳	2	1.7	4	17.4
11	11歳	-	-	-	-
12	12歳	1	0.9	1	4.3
13	13歳以上	1	0.9	4	17.4

「1年後より先に働きたい」と回答している方で、一番下の子どもが何歳になったところに就労を希望するかについてみると、未就学児童では「3歳」が36.2%、就学児童では「8歳」「10歳」「13歳以上」が17.4%と最も高くなっています。

【希望する就労形態】

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=71)		就学児童 (n=38)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	9	12.7	6	15.8
2	パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)	62	87.3	32	84.2

0% 100% 0% 100%

「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」と回答している方で、希望する就労形態についてみると、「パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)」が未就学児童で87.3%、就学児童で84.2%となっています。

【希望する1週あたりの就労日数】

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=62)		就学児童 (n=32)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	-	-	-	-
2	2日	3	4.8	1	3.1
3	3日	24	38.7	19	59.4
4	4日	23	37.1	8	25.0
5	5日	12	19.4	4	12.5
6	6日	-	-	-	-
7	7日	-	-	-	-
8	不明・無回答	-	-	-	-

0% 100% 0% 100%

【希望する1日あたりの就労時間】

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=62)		就学児童 (n=32)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1時間	-	-	-	-
2	2時間	-	-	-	-
3	3時間	3	4.8	3	9.4
4	4時間	26	41.9	11	34.4
5	5時間	25	40.3	11	34.4
6	6時間	5	8.1	6	18.8
7	7時間	1	1.6	1	3.1
8	8時間以上	2	3.2	-	-

0% 100% 0% 100%

「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」と回答している方で、希望する就労日数・就労時間についてみると、就労日数は「3日」が未就学児童で38.7%、就学児童で59.4%と最も高くなっています。

就労時間は未就学児童では「4時間」が41.9%と最も高く、就学児童では「4時間」「5時間」が34.4%となっています。

未就 Q16	就学 Q16	あて名のお子さんの <u>父親</u> の就労状況(自営業、家族従事者含む)について 教えてください。 ※母子家庭の場合は「母親のみ(母子家庭)」を選択してください。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	706	91.8	549	92.6
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	19	2.5	2	0.3
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	4	0.5	4	0.7
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	0.3	-	-
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	5	0.7	3	0.5
6	これまで就労したことがない	1	0.1	1	0.2
7	母親のみ(母子家庭)	31	4.0	33	5.6
8	不明・無回答	1	0.1	1	0.2

0% 100% 0% 100%

父親の就労状況についてみると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が未就学児童で91.8%、就学児童で92.6%と最も高くなっています。

未就	就学	条件	Q16で、「1.」～「4.」(就労している)を選択した方	数字を 入力
Q17	Q17	父親の週あたりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間(残業時間を含む)」		
(条件)		をお答えください。		

【1週あたりの就労日数】

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=731)		就学児童 (n=555)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	-	-	2	0.4
2	2日	1	0.1	1	0.2
3	3日	5	0.7	1	0.2
4	4日	3	0.4	2	0.4
5	5日	576	78.8	419	75.5
6	6日	130	17.8	113	20.4
7	7日	13	1.8	14	2.5
8	不明・無回答	3	0.4	3	0.5

【1日あたりの就労時間】

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=731)		就学児童 (n=555)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	4時間以下	3	0.4	1	0.2
2	5時間	1	0.1	3	0.5
3	6時間	1	0.1	3	0.5
4	7時間	5	0.7	3	0.5
5	8時間	249	34.1	186	33.5
6	9時間以上	472	64.6	359	64.7

父親の就労日数・就労時間についてみると、就労日数は「5日」が未就学児童で78.8%、就学児童で75.5%と最も高く、次いで「6日」が未就学児童で17.8%、就学児童で20.4%となっています。就労時間は「9時間以上」が未就学児童で64.6%、就学児童で64.7%と最も高く、次いで「8時間」が未就学児童で34.1%、就学児童で33.5%となっています。

未就	就学	条件	Q16で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選択した方	1つ 選択
Q18	Q18	父親のフルタイムへの転換希望はありますか。		
(条件)				

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=6)		就学児童 (n=4)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	2	33.3	-	-
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	50.0	1	25.0
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	1	16.7	3	75.0
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	-	-	-	-

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、未就学児童では「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が50.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が33.3%となっています。

就学児童では「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が75.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.0%となっています。

未就	就学	条件 Q16 で、「5.」「6.」(就労していない)を選択した方	1つ 選択
Q19	Q19	父親の就労希望はありますか。	
(条件)			

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=6)		就学児童 (n=4)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	働く予定はない(子育てや家事などに専念したい・働くことができないなど)	3	50.0	2	50.0
2	1年後より先に働きたい	2	33.3	-	-
3	すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	1	16.7	2	50.0

現在就労していない方の就労希望についてみると、「働く予定はない」が未就学児童、就学児童ともに50.0%となっています。

【子どもが何歳になったところに就労を希望するか】

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=2)		就学児童 (n=0)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1歳	1	50.0	-	-
2	2歳	1	50.0	-	-

「1年後より先に働きたい」と回答している方で、一番下の子どもが何歳になったところに就労を希望するかについてみると、未就学児童では「1歳」「2歳」が50.0%となっています。

就学児童では回答はありませんでした。

【希望する就労形態】

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=1)		就学児童 (n=2)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1	100.0	-	-
2	パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)	-	-	2	100.0

0% 100% 0% 100%

「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」と回答している方で、希望する就労形態についてみると、未就学児童では「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が100.0%、就学児童では「パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)」が100.0%となっています。

【希望する1週あたりの就労日数】

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=0)		就学児童 (n=2)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	-	-	-	-
2	2日	-	-	-	-
3	3日	-	-	1	50.0
4	4日	-	-	-	-
5	5日	-	-	1	50.0
6	6日	-	-	-	-
7	7日	-	-	-	-
8	不明・無回答	-	-	-	-

0% 100% 0% 100%

【希望する1日あたりの就労時間】

No.	項目	父親			
		未就学児童 (n=0)		就学児童 (n=2)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1時間	-	-	-	-
2	2時間	-	-	-	-
3	3時間	-	-	-	-
4	4時間	-	-	1	50.0
5	5時間	-	-	-	-
6	6時間	-	-	-	-
7	7時間	-	-	1	50.0
8	8時間以上	-	-	-	-

0% 100% 0% 100%

「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」と回答している方で、希望する就労日数・就労時間についてみると、就学児童で就労日数は「3日」「5日」、就労時間は「4時間」「7時間」がそれぞれ50.0%となっています。

未就学児童では回答はありませんでした。

3. 平日の定期的な幼稚園や保育園等の利用状況・利用希望について

未就 Q20 (全員)	就学 -	あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園等の子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用されていますか。	1つ 選択
-------------------	---------	--	----------

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	利用している	449	58.4
2	利用していない	320	41.6

0% 100%

定期的な幼稚園や保育園の利用の有無についてみると、「利用している」が58.4%となっています。

未就 Q21 (条件)	就学 -	条件 Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
あて名のお子さんは、平日にどのような施設やサービスを利用していますか。			

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	幼稚園	179	39.9
2	幼稚園の預かり保育	46	10.2
3	保育園	207	46.1
4	認定こども園	10	2.2
5	小規模保育施設	29	6.5
6	事業所内保育施設	5	1.1
7	認可外の保育施設	16	3.6
8	ファミリー・サポート・センター	1	0.2
9	その他	23	5.1

0% 50%

平日に利用している施設やサービスについてみると、「保育園」が46.1%と最も高く、次いで「幼稚園」が39.9%となっています。

未就	就学	条件 Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	数字を 入力
Q22	-	平日に定期的に利用している幼稚園や保育園等について、	
(条件)		最も多いパターンとしてどのくらい利用していますか。	

【1週あたりの利用日数】

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	1日	6	1.3
2	2日	5	1.1
3	3日	12	2.7
4	4日	14	3.1
5	5日	401	89.3
6	6日	10	2.2
7	7日	1	0.2

0% 100%

【1日あたりの利用時間】

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	～1時間	1	0.2
2	～2時間	-	-
3	～3時間	1	0.2
4	～4時間	14	3.1
5	～5時間	63	14.0
6	～6時間	92	20.5
7	～7時間	70	15.6
8	～8時間	98	21.8
9	～9時間	45	10.0
10	～10時間以上	65	14.5

0% 50%

平日に利用している施設やサービスの現在の状況についてみると、1週あたりの利用日数では「5日」が89.3%、1日あたりの利用時間では「～8時間」が21.8%とそれぞれ最も高くなっています。

【開始時間】

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	7時台	38	8.5
2	8時台	207	46.1
3	9時台	176	39.2
4	10時以降	23	5.1
5	不明・無回答	5	1.1

0% 50%

【終了時間】

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	12時台	2	0.4
2	13時台	1	0.2
3	14時台	92	20.5
4	15時台	98	21.8
5	16時台	121	26.9
6	17時台	70	15.6
7	18時台	58	12.9
8	19時台	1	0.2
9	20時以降	1	0.2
10	不明・無回答	5	1.1

0% 50%

利用の開始時間は「8時台」が46.1%、終了時間は「16時台」が26.9%とそれぞれ最も高くなっています。

未就	就学	条件	Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	1つ 選択
Q23	-	(条件)	現在の1週当たりの利用日数や1日当たりの利用時間は希望とおりですか。	

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	希望とおりである	415	92.4
2	希望とおりではない	34	7.6

現在の施設やサービスの利用状況が希望どおりかについてみると、「希望とおりである」が92.4%となっています。

未就	就学	条件	Q23 で、「2. 希望とおりではない」を選択した方	1つ 選択
Q24	-	(条件)	平日に定期的に利用している幼稚園や保育園等について、希望としてはどのくらい利用したいですか。	

【1週あたりの希望利用日数】

No.	項目	未就学児童 (n=34)	
		件数	割合(%)
1	1日	1	2.9
2	2日	1	2.9
3	3日	3	8.8
4	4日	-	-
5	5日	26	76.5
6	6日	3	8.8
7	7日	-	-

【1日あたりの希望利用時間】

No.	項目	未就学児童 (n=34)	
		件数	割合(%)
1	～1時間	-	-
2	～2時間	-	-
3	～3時間	-	-
4	～4時間	-	-
5	～5時間	1	2.9
6	～6時間	8	23.5
7	～7時間	8	23.5
8	～8時間	10	29.4
9	～9時間	5	14.7
10	～10時間以上	2	5.9

平日に利用している施設やサービスの利用希望についてみると、1週あたりの利用日数では「5日」が76.5%、1日あたりの利用時間では「～8時間」が29.4%とそれぞれ最も高くなっています。

【希望開始時間】

No.	項目	未就学児童 (n=34)	
		件数	割合(%)
1	7時台	1	2.9
2	8時台	19	55.9
3	9時台	12	35.3
4	10時以降	2	5.9
5	不明・無回答	-	-

【希望終了時間】

No.	項目	未就学児童 (n=34)	
		件数	割合(%)
1	12時台	1	2.9
2	13時台	-	-
3	14時台	2	5.9
4	15時台	6	17.6
5	16時台	11	32.4
6	17時台	5	14.7
7	18時台	8	23.5
8	19時台	1	2.9
9	20時以降	-	-

利用を希望する開始時間は「8時台」が55.9%、終了時間は「16時台」が32.4%とそれぞれ最も高くなっています。

未就	就学	条件	Q20で、「1. 利用している」を選択した方	1つ 選択
Q25	-	(条件)	現在、利用している幼稚園や保育園等の所在地はどちらですか。	

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	小牧市内	399	88.9
2	他の市町村	48	10.7
3	不明・無回答	2	0.4

利用している幼稚園や保育園等の所在地についてみると、「小牧市内」が88.9%、「他の市町村」が10.7%となっています。

未就	就学	条件 Q20 で、「2. 利用していない」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
Q26	-	利用していない理由として、あてはまるものをお答えください。	
(条件)			

No.	項目	未就学児童 (n=320)	
		件数	割合(%)
1	子どもの父母がみている	265	82.8
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている	36	11.3
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	-	-
4	利用したいが幼稚園や保育園等に空きがない	41	12.8
5	利用したいが経済的な理由で保育サービスを利用できない	7	2.2
6	利用したいが延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	5	1.6
7	利用したいが保育サービスの質や場所など、納得できる保育サービスがない	5	1.6
8	その他	26	8.1

0% 100%

施設やサービスを利用していない理由についてみると、「子どもの父母がみている」が82.8%と最も高く、次いで「利用したいが幼稚園や保育園等に空きがない」が12.8%となっています。

未就	就学	条件 Q26 で、「2. 利用していない」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
Q27	-	今後、幼稚園や保育園等の子どもを預かる施設やサービスを	
(条件)		定期的に利用しようと思いますか。	

No.	項目	未就学児童 (n=320)	
		件数	割合(%)
1	利用しようと考えている	282	88.1
2	利用する予定はない	38	11.9

0% 100%

今後の施設やサービスの利用意向についてみると、「利用しようと考えている」が88.1%となっています。

【子どもが何歳になったら利用したいか】

No.	項目	未就学児童 (n=282)	
		件数	割合(%)
1	0歳	12	4.3
2	1歳	70	24.8
3	2歳	52	18.4
4	3歳	130	46.1
5	4歳	18	6.4

0% 100%

子どもが何歳になったら利用したいかは「3歳」が46.1%と最も高く、次いで「1歳」が24.8%となっています。

未就	就学	現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが 平日に「定期的に」利用したいと考える施設や保育サービスをお答えください。	あてはまるもの すべて選択
Q31	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	幼稚園(国が定める基準に適合した施設で都道府県の認可を受けた教育施設)	392	51.0
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	220	28.6
3	保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	414	53.8
4	認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	178	23.1
5	小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	84	10.9
6	家庭的保育施設(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	18	2.3
7	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	38	4.9
8	市の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、市が認証・認定した施設)	34	4.4
9	認可外の保育施設	10	1.3
10	居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	37	4.8
11	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	53	6.9
12	親が自宅で保育する	99	12.9
13	その他	5	0.7

0% 100%

平日に定期的に利用したいと考える施設やサービスについてみると、「保育園」が53.8%と最も高く、次いで「幼稚園」が51.0%となっています。

未就	就学	条件	Q31で、「1.」「2.」かつ「3.」～「13.」を選択した方 (幼稚園と保育園などの両方について利用希望のある方)	1つ 選択
Q32	-	特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用		
(条件)	を強く希望しますか。			

No.	項目	未就学児童 (n=196)	
		件数	割合(%)
1	はい	127	64.8
2	いいえ	69	35.2

0% 100%

特に幼稚園の利用を強く希望するかについてみると、「はい」が64.8%となっています。

未就	就学	条件	Q31で、「1.」「2.」かつ「3.」～「13.」を選択した方 (幼稚園と保育園などの両方について利用希望のある方)	1つ 選択
Q33	-	特に保育園などの利用を強く希望しますか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=196)	
		件数	割合(%)
1	はい	121	61.7
2	いいえ	75	38.3

0% 100%

特に保育園などの利用を強く希望するかについてみると、「はい」が61.7%となっています。

4. 地域の子育て支援事業等の利用状況について

未就 Q34	就学 -	あて名のお子さんは、現在、子育て世代包括支援センター、児童館の子育て支援室等の地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。 ※利用されているものをすべて選択し、おおよその利用回数(頻度)をお答えください。	あてはまるもの すべて選択 数字を 入力
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	地域子育て支援拠点事業(子育て世代包括支援センター・児童館)	385	50.1
2	その他小牧市で実施している類似の事業	29	3.8
3	利用していない	378	49.2

0% 50% 100%

地域の子育て支援事業等の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業」が50.1%と最も高く、次いで「利用していない」が49.2%となっています。

【利用回数（1か月あたり）】

No.	項目	未就学児童			
		地域子育て支援拠点事業 (n=385)		その他小牧市で実施している 類似の事業 (n=29)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1回	124	32.2	14	48.3
2	2回	62	16.1	7	24.1
3	3回	41	10.6	2	6.9
4	4回	52	13.5	3	10.3
5	5回	27	7.0	1	3.4
6	6回	11	2.9	-	-
7	7回	3	0.8	-	-
8	8回	14	3.6	-	-
9	9回	-	-	-	-
10	10回以上	45	11.7	1	3.4
11	不明・無回答	6	1.6	1	3.4

0% 50% 0% 50%

1か月あたりの利用回数は「1回」が地域子育て支援拠点事業で32.2%、その他小牧市で実施している類似の事業で48.3%と最も高く、次いで「2回」が地域子育て支援拠点事業で16.1%、その他小牧市で実施している類似の事業で24.1%となっています。

未就	就学	地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか。	1つ選択数字を入力
Q35	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	利用していないが、今後利用したい	182	23.7
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	188	24.4
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	399	51.9

0% 100%

地域子育て支援事業等の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が51.9%と最も高くなっています。

【希望利用回数（1か月あたり）】

No.	項目	未就学児童			
		利用していないが、今後利用したい (n=182)		すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい (n=188)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1回	63	34.6	13	6.9
2	2回	46	25.3	37	19.7
3	3回	17	9.3	30	16.0
4	4回	34	18.7	32	17.0
5	5回	10	5.5	17	9.0
6	6回	-	-	12	6.4
7	7回	-	-	1	0.5
8	8回	7	3.8	10	5.3
9	9回	-	-	-	-
10	10回以上	4	2.2	35	18.6
11	不明・無回答	1	0.5	1	0.5

0% 50% 0% 50%

1か月あたりの希望する利用回数は、「利用していないが今後利用したい」と答えた方では「1回」が34.6%と最も高く、次いで「2回」が25.3%となっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた方では「2回」が19.7%と最も高く、次いで「10回以上」が18.6%となっています。

未就	就学	子育てに関する施設やサービスについてお答えください。	あてはまるもの すべて選択
Q36	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児(n=769)					
		知っている 子育てに関する施設やサービス		利用したことがある 子育てに関する施設やサービス		今後利用したいと思う 子育てに関する施設やサービス	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	保健センターの教室・相談サービス	487	63.3	239	31.1	118	15.3
2	愛知県総合教育センター・教育相談	30	3.9	6	0.8	35	4.6
3	保育園や幼稚園の園庭開放等の子育て支援	432	56.2	221	28.7	168	21.8
4	児童館(こまきこども未来館含む)	714	92.8	630	81.9	527	68.5
5	子育て世代包括支援センター	524	68.1	299	38.9	187	24.3
6	一時預かり事業(子育て世代包括支援センター内)	443	57.6	121	15.7	182	23.7
7	利用者支援事業(相談事業)	54	7.0	10	1.3	23	3.0
8	すくすくパオーンルーム(子育て支援室)	535	69.6	372	48.4	194	25.2
9	産前産後ヘルパー事業	204	26.5	7	0.9	37	4.8
10	産後ケア事業	239	31.1	30	3.9	49	6.4
11	市が発行している子育て支援情報誌	80	10.4	23	3.0	46	6.0
12	子育て家庭優待事業(はぐみんカード)	523	68.0	341	44.3	267	34.7
13	子育て応援アプリ『すくすくこまキッズ』	284	36.9	131	17.0	107	13.9
14	家庭教育に関する学級・講座	36	4.7	13	1.7	53	6.9
15	育児支援家庭訪問事業	80	10.4	12	1.6	15	2.0
16	子育て支援短期支援事業	81	10.5	3	0.4	33	4.3
17	該当する施設やサービスはない	11	1.4	50	6.5	89	11.6
18	不明・無回答	1	0.1	1	0.1	1	0.1

未就学児の子育て支援事業の認知度、利用状況、今後の利用意向についてみると、「児童館(こまきこども未来館含む)」が最も高くなっています。次いで認知度、利用状況では「すくすくパオーンルーム(子育て支援室)」、今後の利用意向では「子育て家庭優待事業(はぐみんカード)」となっています。

5. 土曜・日曜日・祝日や幼稚園の夏休みなどの幼稚園や保育園等の利用状況について

未就 Q37	就学 -	あて名のお子さんについて、 <u>土曜日と日曜日・祝日</u> の、定期的な幼稚園や保育園等の利用希望をお答えください。(一時的な利用は除きます。)	1つ選択数字を入力
(全員)			

No.	項目	未就学児 (n=769)			
		土曜日		日曜日・祝日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	利用する必要はない	579	75.3	627	81.5
2	ほぼ毎週利用したい	47	6.1	12	1.6
3	月に1~2回は利用したい	142	18.5	129	16.8
4	不明・無回答	1	0.1	1	0.1

0% 100% 0% 100%

土曜日と日曜日・祝日の定期的な幼稚園や保育園等の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が土曜日で75.3%、日曜日・祝日で81.5%と最も高くなっています。

【希望開始時間】

No.	項目	未就学児 (n=189)		未就学児 (n=141)	
		土曜日		日曜日・祝日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	7時台	24	12.7	18	12.8
2	8時台	100	52.9	76	53.9
3	9時台	50	26.5	42	29.8
4	10時台	10	5.3	3	2.1
5	11時台	-	-	-	-
6	12時台	-	-	-	-
7	13時台	3	1.6	1	0.7
8	不明・無回答	2	1.1	1	0.7

0% 100% 0% 100%

【希望終了時間】

No.	項目	未就学児 (n=189)		未就学児 (n=141)	
		土曜日		日曜日・祝日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	12時台	2	1.1	1	0.7
2	13時台	6	3.2	3	2.1
3	14時台	13	6.9	9	6.4
4	15時台	27	14.3	17	12.1
5	16時台	34	18.0	26	18.4
6	17時台	34	18.0	26	18.4
7	18時台	64	33.9	51	36.2
8	19時台	5	2.6	5	3.5
9	20時以降	2	1.1	2	1.4
10	不明・無回答	2	1.1	1	0.7

0% 100% 0% 100%

利用を希望する開始時間は「8時台」が未就学児童で52.9%、就学児童で53.9%、終了時間は「18時台」が未就学児童で33.9%、就学児童で36.2%とそれぞれ最も高くなっています。

未就	就学	条件	Q37(1)もしくは(2)で、「3.月に1~2回は利用したい」を選択した方	あてはまるものすべて選択
Q38	-	(条件)	毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。	

No.	項目	未就学児童 (n=196)	
		件数	割合(%)
1	月に数回仕事が入るため	129	65.8
2	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	64	32.7
3	親族の介護や手伝いが必要なため	3	1.5
4	リフレッシュのため	72	36.7
5	その他	11	5.6

たまに利用したい理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が65.8%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が36.7%となっています。

未就	就学	条件	幼稚園を利用されている方	1つ選択数字を入力
Q39	-	(条件)	あて名のお子さんについて、 <u>夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼稚園や保育園等の利用について</u> お答えください。	

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	利用する必要はない	63	14.0
2	ほぼ毎週利用したい	81	18.0
3	月に1~2回は利用したい	36	8.0
4	不明・無回答	269	59.9

長期の休暇期間中の幼稚園や保育園等の利用希望についてみると、「ほぼ毎週利用したい」が18.0%と最も高くなっています。

【希望開始時間】

No.	項目	未就学児童 (n=117)	
		件数	割合(%)
1	7時台	1	0.9
2	8時台	54	46.2
3	9時台	56	47.9
4	10時台	5	4.3
5	11時台	-	-
6	12時台	-	-
7	13時台	-	-
8	不明・無回答	1	0.9

【希望終了時間】

No.	項目	未就学児童 (n=117)	
		件数	割合(%)
1	12時台	2	1.7
2	13時台	1	0.9
3	14時台	12	10.3
4	15時台	53	45.3
5	16時台	21	17.9
6	17時台	19	16.2
7	18時台	6	5.1
8	19時台	1	0.9
9	20時以降	1	0.9
10	不明・無回答	1	0.9

利用を希望する開始時間は「9時台」が47.9%、終了時間は「15時台」が45.3%とそれぞれ最も高くなっています。

未就	就学	条件	Q39 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
Q40	-	毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=36)	
		件数	割合(%)
1	月に数回仕事が入るため	11	30.6
2	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	13	36.1
3	親族の介護や手伝いが必要なため	2	5.6
4	リフレッシュのため	25	69.4
5	その他	-	-

0% 100%

たまに利用したい理由についてみると、「リフレッシュのため」が69.4%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が36.1%となっています。

6. 病気の際の対応や、不定期な一時預かり等について

未就	就学	条件 Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	1つ 選択
Q28	-	あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが 利用できなかったことはありましたか。	

未就	就学	この1年間に、このアンケートを受け取ったお子さんが病気やケガで小学 校を休まなければならなかったことはありましたか。	1つ 選択
-	Q35		

(全員)

No.	項目	未就学児童 (n=449)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	あった	309	68.8	496	83.6
2	なかった	140	31.2	97	16.4

0% 100% 0% 100%

病気やけがで幼稚園や保育園が利用できなかったこと、小学校を休んだ経験の有無についてみると、「あった」が未就学児童で68.8%、就学児童で83.6%となっています。

未就	就学	条件 Q28(未就学児童)・Q35(就学児童)で、「1. あった」を選択した方	あてはまるもの すべて選択 数字を 入力
Q29	Q36	あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している 【未就学児童】幼稚園や保育園等／【就学児童】小学校 が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法とその日数をお 答えください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。	

(条件)

No.	項目	未就学児童 (n=309)		就学児童 (n=496)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	父親が休んだ	98	31.7	112	22.6
2	母親が休んだ	249	80.6	370	74.6
3	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	72	23.3	99	20.0
4	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	54	17.5	96	19.4
5	病児・病後児の保育を利用した	7	2.3	5	1.0
6	ベビーシッターを利用した	-	-	-	-
7	ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-
8	預け先がなかったため子どもだけで留守番をさせた	-	-	28	5.6
9	その他	3	1.0	14	2.8
10	不明・無回答	1	0.3	-	-

0% 100% 0% 100%

子どもが病気やけがで幼稚園や保育園が利用できなかった、または小学校を休んだ場合の対処方法についてみると、「母親が休んだ」が未就学児童で80.6%、就学児童で74.6%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が未就学児童で31.7%、就学児童で22.6%となっています。

【対処日数（未就学児童）】※(6)～(8)は回答なしのため省略

No.	項目	未就学児童									
		(1) 父親が休んだ (n=98)		(2) 母親が休んだ (n=249)		(3) (同居者を含む)親族・知人に 子どもを見てもらった (n=72)		(4) 父親または母親のうち就労して いない方が子どもをみた (n=54)			
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)		
1	1日	11	11.2	7	2.8	5	6.9	2	3.7		
2	2日	16	16.3	13	5.2	15	20.8	1	1.9		
3	3日	13	13.3	17	6.8	6	8.3	1	1.9		
4	4日	6	6.1	7	2.8	4	5.6	1	1.9		
5	5日	23	23.5	29	11.6	14	19.4	9	16.7		
6	6日	1	1.0	8	3.2	-	-	1	1.9		
7	7日	4	4.1	17	6.8	5	6.9	2	3.7		
8	8日	3	3.1	11	4.4	1	1.4	-	-		
9	9日	-	-	-	-	-	-	-	-		
10	10日以上	21	21.4	139	55.8	22	30.6	37	68.5		
11	不明・無回答	-	-	1	0.4	-	-	-	-		

No.	項目	未就学児童			
		(5) 病児・病後児の保育を利用した (n=7)		(9) その他 (n=3)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	-	-	1	33.3
2	2日	-	-	-	-
3	3日	-	-	1	33.3
4	4日	-	-	-	-
5	5日	-	-	1	33.3
6	6日	-	-	-	-
7	7日	-	-	-	-
8	8日	-	-	-	-
9	9日	-	-	-	-
10	10日以上	-	-	-	-
11	不明・無回答	7	100.0	-	-

【対応日数（就学児童）】※(6)、(7)は回答なしのため省略

No.	項目	就学児童									
		(1) 父親が休んだ (n=112)		(2) 母親が休んだ (n=369)		(3) (同居者を含む)親族・知人に 子どもを見てもらった (n=98)		(4) 父親または母親のうち就労して いない方が子どもをみた (n=95)			
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)		
1	1日	34	30.4	45	12.2	18	18.4	6	6.3		
2	2日	28	25.0	47	12.7	27	27.6	12	12.6		
3	3日	23	20.5	76	20.6	19	19.4	13	13.7		
4	4日	-	-	16	4.3	3	3.1	3	3.2		
5	5日	16	14.3	69	18.7	13	13.3	21	22.1		
6	6日	2	1.8	10	2.7	1	1.0	3	3.2		
7	7日	1	0.9	26	7.0	1	1.0	7	7.4		
8	8日	1	0.9	9	2.4	2	2.0	2	2.1		
9	9日	-	-	-	-	-	-	1	1.1		
10	10日以上	6	5.4	70	19.0	13	13.3	27	28.4		
11	不明・無回答	1	0.9	1	0.3	1	1.0	-	-		

No.	項目	就学児童					
		(5) 病児・病後児の保育を利用した (n=5)		(8) 預け先がなかったため 子どもだけで留守番をさせた (n=28)		(9) その他 (n=17)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	-	-	7	25.0	1	5.9
2	2日	3	60.0	9	32.1	-	-
3	3日	-	-	3	10.7	4	23.5
4	4日	-	-	2	7.1	2	11.8
5	5日	2	40.0	4	14.3	2	11.8
6	6日	-	-	-	-	3	17.6
7	7日	-	-	-	-	-	-
8	8日	-	-	-	-	-	-
9	9日	-	-	-	-	-	-
10	10日以上	-	-	3	10.7	2	11.8
11	不明・無回答	-	-	-	-	3	17.6

未就	就学	条件	Q29(未就学児童)・Q36(就学児童)で、「1.」「2.」いずれかにを○をつけた方	1つ選択数字を入力
Q30	Q37	その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(※病児保育は現在小牧市では、はやしこどもクリニックと小木こどもファミリークリニックに委託しています。)		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=255)		就学児童 (n=378)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	50	19.6	36	9.5
2	病状が軽くなれば利用したい	46	18.0	33	8.7
3	子どもが大きくなれば利用したい	17	6.7	6	1.6
4	利用したいと思わない	142	55.7	303	80.2

父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「利用したいと思わない」が未就学児童で55.7%、就学児童で80.2%と最も高くなっています。

【子どもが何歳になったら利用したいか】

No.	項目	未就学児童 (n=17)		就学児童 (n=6)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	3歳～5歳	4	23.5	-	-
2	6歳～8歳	7	41.2	-	-
3	9歳～10歳	6	35.3	6	100.0

「子どもが大きくなれば利用したい」と回答している方で、子どもが何歳になったときに利用を希望するかについてみると、未就学児童では「6歳～8歳」が41.2%、就学児童では「9歳～10歳」が100.0%と最も高くなっています。

未就	就学	あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で保育サービスを不定期に利用していますか。	1つ選択数字を入力
Q41	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	利用している	59	7.7
2	利用していない	710	92.3

0% 100%

保育サービスを不定期に利用しているかについてみると、「利用していない」が92.3%となっています。

【利用している保育サービス】

No.	項目	未就学児童 (n=59)	
		件数	割合(%)
1	一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	39	66.1
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	21	35.6
3	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	-	-
4	ベビーシッター	-	-
5	その他	2	3.4

0% 100%

利用している保育サービスは「一時預かり」が66.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が35.6%となっています。

未就	就学	この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、このアンケートを受け取ったお子さんを「一時的に」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)	1つ 選択
-	Q38		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)
1	あった	97	16.4
2	なかった	496	83.6

0% 100%

保護者の用事で子どもを一時的に預けなければならなかった経験の有無についてみると、「なかった」が83.6%となっています。

対処方法は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が89.7%と最も高くなっています。

【対処方法】

No.	項目	就学児童 (n=97)	
		件数	割合(%)
1	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	87	89.7
2	ファミリー・サポート・センターを利用した	1	1.0
3	ベビーシッターを利用した	-	-
4	その他	13	13.4

0% 100%

【対処日数】

No.	項目	就学児童							
		(1) (同居者を含む)親族・知人に みてもらった (n=87)		(2) ファミリー・サポート・センターを 利用した (n=1)		(3) ベビーシッターを利用した (n=0)		(4) その他 (n=13)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	14	16.1	-	-	-	-	1	7.7
2	2日	14	16.1	-	-	-	-	3	23.1
3	3日	16	18.4	-	-	-	-	4	30.8
4	4日	1	1.1	-	-	-	-	-	-
5	5日	17	19.5	-	-	-	-	-	-
6	6日	3	3.4	-	-	-	-	1	7.7
7	7日	1	1.1	-	-	-	-	-	-
8	8日	2	2.3	-	-	-	-	2	15.4
9	9日	-	-	-	-	-	-	-	-
10	10日以上	18	20.7	1	100.0	-	-	1	7.7
11	不明・無回答	1	1.1	-	-	-	-	1	7.7

0% 100% 0% 100% 0% 100% 0% 100%

未就	就学	あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、 年間何日くらい保育サービスを利用する必要があると思いますか。	あてはまるもの すべて選択 数字を 入力
Q42	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	利用する必要がある	213	27.7
2	利用する必要はない	556	72.3

0% 100%

保育サービスを不定期に利用する必要性の有無についてみると、「利用する必要はない」が72.3%となっています。

利用目的は「私用」が71.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が58.7%となっています。

【利用目的】

No.	項目	未就学児童 (n=213)	
		件数	割合(%)
1	私用	152	71.4
2	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	125	58.7
3	不定期の就労	59	27.7
4	その他	6	2.8

0% 100%

【利用日数】

No.	項目	未就学児童							
		私用 (n=152)		冠婚葬祭、学校行事、 子どもや親の通院等 (n=125)		不定期の就労 (n=59)		その他 (n=6)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	2	1.3	10	8.0	1	1.7	-	-
2	2日	4	2.6	6	4.8	1	1.7	-	-
3	3日	14	9.2	15	12.0	4	6.8	-	-
4	4日	2	1.3	3	2.4	2	3.4	-	-
5	5日	20	13.2	30	24.0	9	15.3	2	33.3
6	6日	7	4.6	6	4.8	1	1.7	1	16.7
7	7日	3	2.0	2	1.6	1	1.7	-	-
8	8日	2	1.3	-	-	-	-	1	16.7
9	9日	-	-	-	-	-	-	-	-
10	10日以上	96	63.2	53	42.4	40	67.8	2	33.3
11	不明・無回答	2	1.3	-	-	-	-	1	7.7

0% 100% 0% 100% 0% 100% 0% 100%

未就	就学	条件	Q42 で、「1. 利用する必要がある」を選択方	あてはまるもの すべて選択
Q43	-	(条件)	Q42 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。	

No.	項目	未就学児童 (n=213)	
		件数	割合(%)
1	幼稚園、保育園、小規模保育施設のような施設	185	86.9
2	子育て世代包括支援センターの一時預かり事業	119	55.9
3	児童館にある子育て支援室のような施設	100	46.9
4	地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 (例:ファミリー・サポート・センター等)	24	11.3
5	その他	3	1.4

0% 100%

子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「幼稚園、保育園、小規模保育施設のような施設」が86.9%と最も高く、次いで「子育て世代包括支援センターの一時預かり事業」が55.9%となっています。

未就	就学	保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。	1つ 選択
Q44	Q39		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	利用する必要がある	94	12.2	36	6.1
2	利用する必要はない	675	87.8	557	93.9

0% 100% 0% 100%

子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要の有無についてみると、「利用する必要はない」が未就学児童で87.8%、就学児童で93.9%となっています。

利用目的は「保護者や家族の病気」が未就学児童で67.0%、就学児童で88.9%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が未就学児童で64.9%、就学児童で72.2%となっています。

【利用目的】

No.	項目	未就学児童 (n=94)		就学児童 (n=36)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	冠婚葬祭	39	41.5	12	33.3
2	保護者や家族の育児疲れ・不安	61	64.9	26	72.2
3	保護者や家族の病気	63	67.0	32	88.9
4	その他	3	3.2	-	-

0% 100% 0% 100%

【利用泊数（未就学児童）】

No.	項目	未就学児童									
		冠婚葬祭 (n=39)		保護者や家族の育児疲れ (n=61)		保護者や家族の病気 (n=63)		その他 (n=3)			
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	12	30.8	26	42.6	13	20.6	-	-	-	-
2	2日	14	35.9	13	21.3	21	33.3	-	-	-	-
3	3日	5	12.8	9	14.8	12	19.0	1	33.3	-	-
4	4日	1	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-
5	5日	6	15.4	4	6.6	8	12.7	-	-	-	-
6	6日	-	-	1	1.6	2	3.2	-	-	-	-
7	7日	-	-	2	3.3	2	3.2	-	-	-	-
8	8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	10日以上	-	-	5	8.2	4	6.3	-	-	-	-
11	不明・無回答	1	2.6	1	1.6	1	1.6	2	66.7	-	-

0% 100% 0% 100% 0% 100% 0% 100%

【利用泊数（就学児童）】

No.	項目	就学児童							
		(1) 冠婚葬祭 (n=12)		(2) 保護者や家族の育児疲れ・不安 (n=26)		(3) 保護者や家族の病気 (n=32)		(4) その他 (n=0)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1日	2	16.7	8	30.8	5	15.6	-	-
2	2日	5	41.7	6	23.1	8	25.0	-	-
3	3日	3	25.0	2	7.7	4	12.5	-	-
4	4日	1	8.3	-	-	1	3.1	-	-
5	5日	1	8.3	2	7.7	8	25.0	-	-
6	6日	-	-	2	7.7	1	3.1	-	-
7	7日	-	-	1	3.8	2	6.3	-	-
8	8日	-	-	-	-	-	-	-	-
9	9日	-	-	-	-	-	-	-	-
10	10日以上	-	-	5	19.2	3	9.4	-	-

0% 100% 0% 100% 0% 100% 0% 100%

7. 放課後の過ごし方について

未就 -	就学 Q20、 21	このアンケートを受け取ったお子さんは、放課後(平日の小学校終了後)/休日(土曜、日曜、祝日)は何をして過ごすことが多いですか。平日の過ごし方についてお答えください。	あてはまるもの すべて選択
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)			
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自宅で学習や読書	291	49.1	206	34.7
2	自宅で自由に過ごす(テレビやゲームなど)	413	69.6	495	83.5
3	祖父母等の親族の家で過ごす	48	8.1	111	18.7
4	友達と自由に過ごす	259	43.7	225	37.9
5	学習塾で勉強する	73	12.3	19	3.2
6	ピアノや習字などの習い事(地域のスポーツクラブ含む)	271	45.7	238	40.1
7	学校で部活動をしている	67	11.3	7	1.2
8	児童館に行っている	47	7.9	42	7.1
9	放課後子ども教室に行っている	12	2.0	-	-
10	放課後児童クラブに行っている	105	17.7	3	0.5
11	ファミリー・サポート・センターを利用している	-	-	1	0.2
12	図書館に行っている	5	0.8	30	5.1
13	家族と外出する	39	6.6	432	72.8
14	地域のボランティア活動に参加する	-	-	3	0.5
15	放課後等デイサービスに行っている	13	2.2	4	0.7
16	その他	1	0.2	4	0.7

放課後や休日の過ごし方についてみると、「自宅で自由に過ごす(テレビやゲームなど)」が平日で69.6%、休日で83.5%と最も高く、次いで平日では「自宅で学習や読書」が49.1%、休日では「家族と外出する」が72.8%となっています。

【放課後児童クラブの利用時間】

No.	項目	就学児童 (n=105)		就学児童 (n=3)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	16時台	4	3.8	1	33.3
2	17時台	34	32.4	-	-
3	18時台	52	49.5	1	33.3
4	19時台	15	14.3	1	33.3

放課後児童クラブの利用時間についてみると、平日では「18時台」が49.5%と最も高く、休日では「16時台」「18時台」「19時台」がそれぞれ33.3%となっています。

未就	就学	条件	Q20 もしくは Q21 で、「10. 放課後児童クラブに行っている」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
-	Q22	放課後児童クラブを良くするためにしてほしいことは何ですか。		
(条件)				

No.	項目	就学児童 (n=105)	
		件数	割合(%)
1	特にない	34	32.4
2	設備面の整備をしてほしい	9	8.6
3	職員の質を向上させてほしい	10	9.5
4	児童クラブの活動内容を充実させてほしい	21	20.0
5	開所時間や開所日数を増やしてほしい	9	8.6
6	利用料の見直しをしてほしい	13	12.4
7	その他	9	8.6

0% 50%

放課後児童クラブを良くするためにしてほしいことについてみると、「児童クラブの活動内容を充実させてほしい」が20.0%と最も高く、次いで「利用料の見直しをしてほしい」が12.4%となっています。

また「特にない」は32.4%となっています。

未就	就学	条件	Q21 もしくは Q22 で、「10. 放課後児童クラブに行っている」を選択した方	数字を 入力
-	Q23	放課後児童クラブを何年生まで利用したいですか。		
(条件)				

No.	項目	就学児童 (n=105)	
		件数	割合(%)
1	2年生	2	1.9
2	3年生	18	17.1
3	4年生	24	22.9
4	5年生	9	8.6
5	6年生	52	49.5

0% 50%

放課後児童クラブを何年生まで利用したいかについてみると、「6年生」が49.5%と最も高く、次いで「4年生」が22.9%となっています。

未就	就学	このアンケートを受け取ったお子さんについて、平日(月曜日から金曜日)の学校や習い事、放課後児童クラブなどが終わったあと、何時に帰宅することが多いですか。	1つ 選択
-	Q24		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)
1	午後4時よりも前	112	18.9
2	午後4時から午後5時よりも前	131	22.1
3	午後5時から午後6時よりも前	154	26.0
4	午後6時から午後7時よりも前	126	21.2
5	午後7時から午後8時よりも前	47	7.9
6	午後8時よりも前	23	3.9

0% 50%

子どもが平日にいつも何時に帰宅しているかについてみると、「午後5時から午後6時よりも前」が26.0%と最も高く、次いで「午後4時から午後5時よりも前」が22.1%となっています。

未就	就学	このアンケートを受け取ったお子さんは、現在の放課後や休日の過ごし方は楽しいと考えていますか。	1つ 選択
-	Q25		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)
1	楽しいと思っている	255	43.0
2	どちらかといえば楽しいと思っている	282	47.6
3	どちらかといえば楽しいと思っていない	19	3.2
4	楽しいと思っていない	8	1.3
5	わからない	29	4.9

0% 50%

現在の放課後や休日の過ごし方は楽しいと考えているかについてみると、「どちらかといえば楽しいと思っている」が47.6%と最も高く、次いで「楽しいと思っている」が43.0%となっています。

未就	就学	このアンケートを受け取ったお子さんについて、平日の夕ご飯は、家の人と一緒に食べていますか。	1つ 選択
-	Q26		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)
1	毎日一緒に食べている	514	86.7
2	1週間のうち3~4日は一緒に食べている	65	11.0
3	1週間のうち1~2日は一緒に食べている	10	1.7
4	毎日別々に食べている	4	0.7

0% 100%

平日の夕ご飯を家の人と一緒に食べているかについてみると、「毎日一緒に食べている」が86.7%と最も高くなっています。

未就	就学	このアンケートを受け取ったお子さんと、話をしたり、一緒に過ごしたりする平日/休日の時間は十分と感じていますか。	1つ 選択
-	Q27、 28		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)			
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	十分だと思う	135	22.8	241	40.6
2	どちらかといえば十分だと思う	297	50.1	301	50.8
3	どちらかといえば十分だと思わない	126	21.2	43	7.3
4	十分だと思わない	35	5.9	8	1.3

0% 100% 0% 100%

子どもと話をしたり一緒に過ごしたりする時間は十分と感じているかについてみると、「どちらかといえば十分だと思う」が平日で50.1%、休日で50.8%と最も高く、次いで「十分だと思う」が平日で22.8%、休日で40.6%となっています。

未就	就学	このアンケートを受け取ったお子さんについて、塾や習い事で多忙だと思いますか。	1つ 選択
-	Q29		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)
1	思う	128	21.6
2	思わない	412	69.5
3	わからない	53	8.9

0% 100%

子どもが塾や習い事で多忙だと思うかについてみると、「思わない」が69.5%となっています。

未就	就学	条件 Q29 で、「1. 思う」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
-	Q29	その理由をお答えください。	
(条件)			

No.	項目	就学児童 (n=128)	
		件数	割合(%)
1	睡眠が不足しているように感じる	32	25.0
2	集中力が欠けているように感じる	5	3.9
3	自分の子どもの頃に比べると多忙に感じる	91	71.1
4	本人から聞いたり、ほかの保護者との会話で見聞きたりすることがある	11	8.6
5	本人が塾や習い事を辞めたいと言っている	7	5.5
6	その他	15	11.7

0% 100%

多忙だと思う理由についてみると、「自分の子どもの頃に比べると多忙に感じる」が71.1%と最も高く、次いで「睡眠が不足しているように感じる」が25.0%となっています。

未就	就学	お子さんについて、現在利用している場所も含めて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。希望する過ごし方についてお答えください。	あてはまるものすべて選択
-	Q30、31		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)			
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自宅で学習や読書	355	59.9	302	50.9
2	自宅で自由に過ごす(テレビやゲームなど)	334	56.3	386	65.1
3	祖父母等の親族の家で過ごす	41	6.9	123	20.7
4	友達と自由に過ごす	359	60.5	390	65.8
5	学習塾で勉強する	116	19.6	50	8.4
6	ピアノや習字などの習い事(地域のスポーツクラブ含む)	247	41.7	191	32.2
7	学校で部活動をする	143	24.1	59	9.9
8	児童館に行っている	95	16.0	103	17.4
9	放課後子ども教室に行く	22	3.7	5	0.8
10	放課後児童クラブに行く	72	12.1	10	1.7
11	ファミリー・サポート・センターを利用する	3	0.5	3	0.5
12	図書館に行く	60	10.1	117	19.7
13	家族と外出する	76	12.8	409	69.0
14	地域のボランティア活動に参加する	21	3.5	44	7.4
15	放課後等デイサービスに行く	10	1.7	4	0.7
16	その他	4	0.7	6	1.0

放課後と休日の時間をどのような場所で過ごさせたいかについてみると、平日では「友達と自由に過ごす」が60.5%と最も高く、次いで「自宅で学習や読書」が59.9%となっています。

休日では「家族と外出する」が69.0%と最も高く、次いで「友達と自由に過ごす」が65.8%となっています。

【放課後児童クラブの希望利用時間】

No.	項目	就学児童 (n=72)		就学児童 (n=10)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	16時台	2	2.8	2	20.0
2	17時台	21	29.2	3	30.0
3	18時台	30	41.7	3	30.0
4	19時台	16	22.2	2	20.0
5	20時以降	3	4.2	-	-

放課後児童クラブの希望利用時間についてみると、平日では「18時台」が41.7%と最も高く、休日では「17時台」「18時台」がそれぞれ30.0%となっています。

未就	就学	あて名のお子さんは5歳以上ですか ※回答時点の年齢でお答えください。	1つ 選択
Q45	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	はい	188	24.4
2	いいえ	581	75.6

0% 100%

あて名の子どもが5歳以上かについてみると、「いいえ」が75.6%となっています。

未就	就学	条件	あて名のお子さんが5歳以上の方	あてはまるもの すべて選択
Q46	-	あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=188)	
		件数	割合(%)
1	自宅	127	67.6
2	祖父母宅や友人・知人宅	22	11.7
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	90	47.9
4	児童館	38	20.2
5	放課後子ども教室	20	10.6
6	放課後児童クラブ	74	39.4
7	ファミリー・サポート・センター	2	1.1
8	その他(公民館、公園など)	41	21.8

0% 100%

就学後、小学校低学年(1~3年生)のうち放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについてみると、「自宅」が67.6%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が47.9%となっています。

【放課後児童クラブの希望利用時間】

No.	項目	未就学児童 (n=74)	
		件数	割合(%)
1	16時台	7	9.5
2	17時台	30	40.5
3	18時台	29	39.2
4	19時台	7	9.5
5	20時以降	-	-
6	不明・無回答	1	1.4

0% 100%

放課後児童クラブの希望利用時間についてみると、「17時台」が40.5%と最も高くなっています。

未就	就学	条件	あて名のお子さんが5歳以上の方	あてはまるもの すべて選択
Q47	-	あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=188)	
		件数	割合(%)
1	自宅	140	74.5
2	祖父母宅や友人・知人宅	29	15.4
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	112	59.6
4	児童館	53	28.2
5	放課後子ども教室	24	12.8
6	放課後児童クラブ	42	22.3
7	ファミリー・サポート・センター	2	1.1
8	その他(公民館、公園など)	55	29.3

0% 100%

就学後、小学校高学年(4～6年生)になったら放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについてみると、「自宅」が74.5%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が59.6%となっています。

【放課後児童クラブの希望利用時間】

No.	項目	未就学児童 (n=42)	
		件数	割合(%)
1	16時台	1	2.4
2	17時台	14	33.3
3	18時台	22	52.4
4	19時台	5	11.9
5	20時以降	-	-

0% 100%

放課後児童クラブの希望利用時間についてみると、「18時台」が52.4%と最も高くなっています。

未就	就学	条件 Q46 または Q47 で「6. 放課後児童クラブ」に○を選択した方	1つ選択 数字を 入力
Q48	Q32	あて名のお子さんについて、現在利用している、していないに関わらず、 土曜日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。	
(条件)			

No.	項目	未就学児童 (n=79)		就学児童 (n=593)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	利用希望がある	22	27.8	39	6.6
2	利用希望はない	57	72.2	554	93.4

0% 100% 0% 100%

土曜日の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用希望はない」が未就学児童で72.2%、就学児童で93.4%となっています。

No.	項目	未就学児童 (n=22)		就学児童 (n=39)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	15	68.2	22	56.4
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	7	31.8	17	43.6

0% 100% 0% 100%

利用を希望する学年についてみると、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が未就学児童で68.2%、就学児童で56.4%となっています。

【希望開始時間】

【希望終了時間】

No.	項目	未就学児童 (n=22)		就学児童 (n=39)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	7時台	1	4.5	6	15.4
2	8時台	15	68.2	25	64.1
3	9時台	6	27.3	5	12.8
4	10時以降	-	-	1	2.6
5	不明・無回答	-	-	2	5.1

0% 100% 0% 100%

No.	項目	未就学児童 (n=22)		就学児童 (n=39)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	13時以前	2	9.1	2	5.1
2	14時台	-	-	1	2.6
3	15時台	2	9.1	2	5.1
4	16時台	3	13.6	6	15.4
5	17時台	3	13.6	9	23.1
6	18時台	11	50.0	14	35.9
7	19時台	1	4.5	2	5.1
8	20時以降	-	-	1	2.6
9	不明・無回答	-	-	2	5.1

0% 100% 0% 100%

利用を希望する開始時間は「8時台」が未就学児童で68.2%、就学児童で64.1%、終了時間は「18時台」が未就学児童で50.0%、就学児童で35.9%とそれぞれ最も高くなっています。

未就	就学	条件 Q46 または Q47 で「6. 放課後児童クラブ」に○を選択した方	1つ選択 数字を 入力
Q49	Q33	あて名のお子さんについて、現在利用している、していないに関わらず、	
(条件)		日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。	

No.	項目	未就学児童 (n=79)		就学児童 (n=593)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	利用希望がある	12	15.2	36	6.1
2	利用希望はない	67	84.8	557	93.9
		0%	100%	0%	100%

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用希望はない」が未就学児童で84.8%、就学児童で93.9%となっています。

No.	項目	未就学児童 (n=12)		就学児童 (n=36)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	9	75.0	17	47.2
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	3	25.0	19	52.8
		0%	100%	0%	100%

利用を希望する学年についてみると、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が未就学児童で75.0%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が就学児童で52.8%となっています。

未就	就学	条件	あて名のお子さんが5歳以上の方	1つ選択 数字を 入力
Q50	Q34	あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇		
(条件)	期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。			

No.	項目	未就学児童 (n=188)		就学児童 (n=593)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	利用希望がある	107	56.9	237	40.0
2	利用希望はない	81	43.1	356	60.0

土曜日の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用希望がある」が未就学児童で56.9%、「利用希望はない」が就学児童で60.0%となっています。

No.	項目	未就学児童 (n=107)		就学児童 (n=237)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	60	56.1	77	32.5
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	47	43.9	160	67.5

利用を希望する学年についてみると、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が未就学児童で56.1%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が就学児童で67.5%となっています。

【希望開始時間】

No.	項目	未就学児童 (n=107)		就学児童 (n=237)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	7時台	12	11.2	55	23.2
2	8時台	70	65.4	139	58.6
3	9時台	22	20.6	35	14.8
4	10時以降	3	2.8	5	2.1
5	不明・無回答	-	-	3	1.3

【希望終了時間】

No.	項目	未就学児童 (n=107)		就学児童 (n=237)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	13時台	-	-	3	1.3
2	14時台	2	1.9	14	5.9
3	15時台	15	14.0	23	9.7
4	16時台	25	23.4	35	14.8
5	17時台	27	25.2	61	25.7
6	18時台	33	30.8	78	32.9
7	19時台	4	3.7	18	7.6
8	20時以降	1	0.9	2	0.8
9	不明・無回答	-	-	3	1.3

利用を希望する開始時間は「8時台」が未就学児童で65.4%、就学児童で58.6%、終了時間は「18時台」が未就学児童で30.8%、就学児童で32.9%とそれぞれ最も高くなっています。

8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

未就 Q51 (全員)	就学 -	あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。	1つ 選択
-------------------	---------	--	----------

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=769)		父親 (n=769)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	働いていなかった	325	42.3	13	1.7
2	取得した(取得中である)	351	45.6	151	19.6
3	取得していない	88	11.4	580	75.4
4	父子家庭・母子家庭	5	0.7	25	3.3

0% 100% 0% 100%

子どもが生まれた際に育児休業を取得したかについてみると、母親では「取得した(取得中である)」が45.6%、父親では「取得していない」が75.4%となっています。

未就 Q52 (条件)	就学 -	条件 Q51(1)、(2)で「3. 取得していない」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
育児休業を取得していない理由としてあてはまるものをお答えください。			

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=88)		父親 (n=580)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	11	12.5	260	44.8
2	仕事が忙しかった	10	11.4	266	45.9
3	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	2	2.3	2	0.3
4	仕事に戻るのが難しそうだった	11	12.5	24	4.1
5	昇給・昇格などが遅れそうだった	-	-	44	7.6
6	収入減となり、経済的に苦しくなる	5	5.7	213	36.7
7	保育園などに預けることができた	4	4.5	5	0.9
8	配偶者・パートナーが育児休業制度を利用した	1	1.1	94	16.2
9	配偶者・パートナーが無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	10	11.4	98	16.9
10	子育てや家事に専念するため退職した	38	43.2	2	0.3
11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	17	19.3	54	9.3
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	5.7	2	0.3
13	育児休業を取得できることを知らなかった	1	1.1	15	2.6
14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	-	-	-	-
15	その他	9	10.2	48	8.3

0% 100% 0% 100%

育児休業を取得していない理由についてみると、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が43.2%、父親では「仕事が忙しかった」が45.9%とそれぞれ最も高くなっています。

未就	就学	条件	Q51(1)、(2)で「2. 取得した(取得中である)」を選択した方	1つ 選択
Q53	-	育児休業取得後、職場に復帰しましたか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=351)		父親 (n=151)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	育児休業取得後、職場に復帰した	176	50.1	142	94.0
2	現在も育児休業中である	143	40.7	9	6.0
3	育児休業中に離職した	32	9.1	-	-
		0%	100%	0%	100%

育児休業取得後職場に復帰したかについてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が母親で50.1%、父親で94.0%となっています。

未就	就学	条件	Q53で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方	1つ 選択
Q54	-	育児休業から職場に復帰した時期をお答えください。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=176)		父親 (n=142)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	年度初めの入所に合わせたタイミングだった	96	54.5	4	2.8
2	育児休業満了と同時のタイミングだった(年度初め以外)	55	31.3	68	47.9
3	それ以外だった	25	14.2	70	49.3
		0%	100%	0%	100%

育児休業から職場に復帰した時期についてみると、母親で「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が54.5%、父親で「育児休業満了と同時のタイミングだった(年度初め以外)」が47.9%となっています。

未就	就学	条件 Q53 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方	数字を 入力
Q55	-	お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、	
(条件)		「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。	

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=176)		父親 (n=142)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	6ヶ月未満	1	0.6	56	39.4
2	6ヶ月～1歳未満	1	0.6	12	8.5
3	1歳～1歳6ヶ月未満	28	15.9	36	25.4
4	1歳6ヶ月～2歳未満	15	8.5	10	7.0
5	2歳～2歳6ヶ月未満	26	14.8	3	2.1
6	2歳6ヶ月～3歳未満	6	3.4	2	1.4
7	3歳～	98	55.7	23	16.2
8	不明・無回答	1	0.6	-	-

子どもが何歳何か月のときまで育児休業を取得したいかについてみると、母親で「3歳～」が55.7%、父親で「6ヶ月未満」が39.4%とそれぞれ最も高くなっています。

未就	就学	条件 Q53 で「2. 現在も育児休業中である」を選択した方	1つ 選択
Q56	-	あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。あるいは、1歳になったときに必ず利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。	
(条件)			

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=143)		父親 (n=9)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1歳になるまで育児休業を取得したい	134	93.7	6	66.7
2	1歳になる前に復帰したい	9	6.3	3	33.3

必ず利用できる事業があった場合、子どもが1歳になるまで育児休業を取得したいかについてみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で93.7%、父親で66.7%となっています。

9. 公立保育園と私立保育園について

未就 Q57	就学 Q40	現在市内には、保育園が21園、認定こども園が2園、小規模保育施設が17園あります(以下「保育園等」といいます。)。それぞれ保育園等の施設の特徴やちがいを知っていますか(施設数は令和5年12月1日現在)。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	305	39.7	196	33.1
2	知らない	464	60.3	397	66.9

市内の保育園等の施設の特徴やちがいを知っているかについてみると、「知らない」が未就学児童で60.3%、就学児童で66.9%となっています。

未就 Q58	就学 Q41	保育園等の施設のうち、民間事業者が運営する私立の施設は、保育園が7園、認定こども園が2園、小規模保育施設が16園あります。保育園等の施設を利用するうえで、公立の施設と私立の施設のちがいを感ずることはありますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	感じる	96	12.5	81	13.7
2	感じない	36	4.7	27	4.6
3	わからない	422	54.9	339	57.2
4	保育施設を利用していない	215	28.0	146	24.6

保育園等の公立と私立の施設のちがいを感ずるかについてみると、「わからない」が未就学児童で54.9%、就学児童で57.2%となっています。

未就 Q59	就学 -	私立の保育園等の施設では、多様な保育ニーズに対応できる保育園として、延長保育や一時保育、休日保育などが充実していることを知っていますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	302	39.3	263	44.4
2	知らない	467	60.7	330	55.6

私立の保育園等の施設では延長保育や一時保育、休日保育などが充実していることを知っているかについてみると、「知らない」が未就学児童で60.7%、就学児童で55.6%となっています。

10. 保育料無償化について

未就 Q60	就学 Q43	市独自の少子化対策の拡充として、市内保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(17園)の保育料を令和5年4月から無償として知っているかどうか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	624	81.1	277	46.7
2	知らない	145	18.9	316	53.3

0% 100% 0% 100%

保育料無償化を知っているかについてみると、未就学児童で「知っている」が81.1%、就学児童で「知らない」が53.3%となっています。

未就 Q60	就学 Q43	条件 Q60(未就学児童)・Q43(就学児童)で、「1. 知っている」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
(条件)		無償化の情報をどこで知りましたか。	

No.	項目	未就学児童 (n=624)		就学児童 (n=277)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	市ホームページ	245	39.3	88	31.8
2	市公式LINE	73	11.7	42	15.2
3	新聞、テレビ	110	17.6	78	28.2
4	友人・知人から	219	35.1	92	33.2
5	SNS	46	7.4	12	4.3
6	その他	56	9.0	40	14.4

0% 50% 0% 50%

保育料無償化の情報をどこで知ったかについてみると、未就学児童では「市ホームページ」が39.3%、就学児童では「友人・知人から」が33.2%とそれぞれ最も高くなっています。

未就 Q61	就学 Q44	保育料の無償化は少子化対策に効果的だと思いますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	とても効果的である	278	36.2	143	24.1
2	効果的である	234	30.4	197	33.2
3	あまり効果的でない	103	13.4	108	18.2
4	効果的でない	20	2.6	32	5.4
5	わからない	134	17.4	113	19.1

0% 50% 0% 100%

保育料無償化は少子化対策に効果的だと思うかについてみると、未就学児童では「とても効果的である」が36.2%、就学児童では「効果的である」が33.2%となっています。

11. 子育てをめぐる環境や市に期待する子育て施策について

未就 Q62 (全員)	就学 Q45	普段、子育てについてどのようなものから情報を得ていますか。	あてはまるもの すべて選択
-------------------	-----------	-------------------------------	------------------

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	子育て支援アプリ	161	20.9	54	9.1
2	広報こまき	344	44.7	300	50.6
3	小牧市の公式ホームページ	117	15.2	77	13.0
4	小牧市の公式X(旧Twitter)	8	1.0	4	0.7
5	小牧市の公式LINE	171	22.2	148	25.0
6	小牧市以外のホームページ	33	4.3	28	4.7
7	小牧市公式以外のSNS	173	22.5	60	10.1
8	新聞	36	4.7	57	9.6
9	広告・ポスター	39	5.1	37	6.2
10	テレビ・ラジオ	126	16.4	115	19.4
11	友人・知人の口コミ	326	42.4	291	49.1
12	NPO法人	4	0.5	-	-
13	各種団体・コミュニティなどにおける情報交換	31	4.0	36	6.1
14	特に情報を得ていない	72	9.4	65	11.0
15	その他	27	3.5	15	2.5

子育ての情報をどのようなものから得ているかについてみると、「広報こまき」が未就学児童で44.7%、就学児童で50.6%と最も高く、次いで「友人・知人の口コミ」が未就学児童で42.4%、就学児童で49.1%となっています。

未就 Q63 (全員)	就学 Q46	あなたは、子育てをつらいと感じることはありますか。	1つ 選択
-------------------	-----------	---------------------------	----------

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	とてもある	43	5.6	34	5.7
2	ときどきある	254	33.0	167	28.2
3	まれにある	168	21.8	163	27.5
4	つらいと感じることはない	232	30.2	203	34.2
5	わからない	72	9.4	26	4.4

子育てをつらいと感じることがあるかについてみると、未就学児童では「ときどきある」が33.0%、就学児童では「つらいと感じることはない」が34.2%となっています。

未就	就学	あなたは、近所や地域の人とのつきあいがどの程度ありますか。	1つ 選択
Q64	Q47		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	あいさつする程度	429	55.8	276	46.5
2	時々立ち話をする	211	27.4	202	34.1
3	家へ上がって話をする	15	2.0	12	2.0
4	食事に行ったり、家族ぐるみでつき合っている	14	1.8	24	4.0
5	困っているときに相談したり助け合ったりしている	17	2.2	39	6.6
6	ほとんどつきあいはない	83	10.8	40	6.7

0% 100% 0% 100%

近所や地域の人とつきあいがあるかについてみると、「あいさつする程度」が未就学児童で55.8%、就学児童で46.5%と最も高く、次いで「時々立ち話をする」が未就学児童で27.4%、就学児童で34.1%となっています。

未就	就学	あなたは、子育てがしやすいまちの要素として、地域社会のかかわりは必要だと思いますか。	1つ 選択
Q65	Q48		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	大いに必要である	150	19.5	93	15.7
2	ある程度は必要である	439	57.1	357	60.2
3	どちらともいえない	150	19.5	110	18.5
4	あまり必要ではない	22	2.9	21	3.5
5	必要ではない	8	1.0	12	2.0

0% 100% 0% 100%

子育てがしやすいまちの要素として地域社会のかかわりは必要だと思うかについてみると、「ある程度は必要である」が未就学児童で57.1%、就学児童で60.2%となっています。

未就	就学	あなたは、子ども会の活動にはどのような形で参加していますか	1つ 選択
-	Q49		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)
1	積極的に参加している	145	24.5
2	なんとなく参加している	130	21.9
3	あまり参加していない	39	6.6
4	子ども会は知っているが、加入はしていない	148	25.0
5	子ども会を知らない	24	4.0
6	自分の地域に子ども会がない	107	18.0

0% 50%

子ども会の活動にどのような形で参加しているかについてみると、「子ども会は知っているが、加入はしていない」が25.0%と最も高く、次いで「積極的に参加している」が24.5%となっています。

未就	就学	条件 Q49 で、「4. 子ども会は知っているが、加入はしていない」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
-	Q49	その理由をお答えください。	
(条件)			

No.	項目	就学児童 (n=148)	
		件数	割合(%)
1	子どもが入りたくないというため	20	13.5
2	親(役員)が主体で子どもの自主性を育てないため	4	2.7
3	子どもの数が少なく、活動がほとんどないため	11	7.4
4	土曜・日曜日に行事が多すぎて、家族の時間が持てないため	16	10.8
5	子どもが習い事をしていて、子ども会の活動にほとんど参加できないため	28	18.9
6	児童クラブに入っているので必要ないため	2	1.4
7	子ども会での活動などが、家庭の教育方針と異なる場合があるため	-	-
8	役員の仕事をするのが困難なため	46	31.1
9	自治会とのつながりがわずらわしいため	11	7.4
10	その他	10	6.8

0% 50%

子ども会に加入していない理由についてみると、「役員の仕事をするのが困難なため」が31.1%と最も高く、次いで「子どもが習い事をしていて、子供会の活動にほとんど参加できないため」が18.9%となっています。

未就	就学	あなたは、子ども会活動は今後必要であると思いますか。	1つ 選択
-	Q50		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)
1	必要である	191	32.2
2	必要性を感じない	344	58.0
3	その他	58	9.8

0% 100%

子ども会活動は今後必要と思うかについてみると、「必要性を感じない」が58.0%となっています。

未就	就学	子育て支援に関して、どのようなことを市の施策として期待しますか。	2つまで 選択
Q66	Q51		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	妊娠・出産期の支援	244	31.7	86	14.5
2	子育てしやすいまちの環境面の充実	328	42.7	248	41.8
3	様々な遊びや体験の場の整備	267	34.7	224	37.8
4	子育てに関する交流や相談の場の整備	60	7.8	47	7.9
5	保護者の就労支援	131	17.0	78	13.2
6	家庭への経済的な支援	359	46.7	265	44.7
7	特別な事情のある児童の育成支援	38	4.9	56	9.4
8	その他	13	1.7	25	4.2

0% 100% 0% 100%

子育て支援に関して市の施策として期待することについてみると、「家庭への経済的な支援」が未就学児童で46.7%、就学児童で44.7%と最も高く、次いで「子育てしやすいまちの環境面の充実」が未就学児童で42.7%、就学児童で41.8%となっています。

(1) 妊娠・出産期の支援

No.	項目	未就学児童 (n=244)		就学児童 (n=86)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	妊娠・出産にかかる経済的な支援	191	78.3	61	70.9
2	母親・乳児の健康に対する支援	47	19.3	9	10.5
3	妊娠中・出産後に利用できるサービスについての情報提供	6	2.5	14	16.3
4	その他	-	-	2	2.3

0% 100% 0% 100%

妊娠・出産期の支援についてみると、「妊娠・出産にかかる経済的な支援」が未就学児童で78.3%、就学児童で70.9%と最も高くなっています。

(2) 子育てしやすいまちの環境面の充実

No.	項目	未就学児童 (n=328)		就学児童 (n=248)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	子育てしやすい住居の充実	63	19.2	53	21.4
2	公共交通機関の充実	46	14.0	86	34.7
3	保育施設・サービスの充実	203	61.9	103	41.5
4	その他	16	4.9	6	2.4

子育てしやすいまちの環境面の充実についてみると、「保育施設・サービスの充実」が未就学児童で61.9%、就学児童で41.5%と最も高くなっています。

(3) 様々な遊びや体験の場の整備

No.	項目	未就学児童 (n=267)		就学児童 (n=224)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	放課後子ども教室の開催日の拡大	50	18.7	30	13.4
2	公園などの遊び場の整備	144	53.9	121	54.0
3	児童を対象とした地域の体験活動の支援	70	26.2	73	32.6
4	その他	3	1.1	-	-

様々な遊びや体験の場の整備についてみると、「公園などの遊び場の整備」が未就学児童で53.9%、就学児童で54.0%と最も高くなっています。

(4) 子育てに関する交流や相談の場の整備

No.	項目	未就学児童 (n=60)		就学児童 (n=47)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	子育てについて気軽に相談できる場所の充実	30	50.0	29	61.7
2	親同士の交流や地域の子育て活動への支援	29	48.3	17	36.2
3	その他	1	1.7	1	2.1

子育てに関する交流や相談の場の整備についてみると、「子育てについて気軽に相談できる場所の充実」が未就学児童で50.0%、就学児童で61.7%と最も高くなっています。

(5) 保護者の就労支援

No.	項目	未就学児童 (n=131)		就学児童 (n=78)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	放課後児童クラブの時間延長	26	19.8	7	9.0
2	民間の学童保育所の整備	30	22.9	8	10.3
3	突発・短期的な理由による一時的な預かり場所の確保	68	51.9	51	65.4
4	その他	7	5.3	12	15.4

保護者の就労支援についてみると、「突発・短期的な理由による一時的な預かり場所の確保」が未就学児童で51.9%、就学児童で65.4%と最も高くなっています。

(6) 家庭への経済的な支援

No.	項目	未就学児童 (n=359)		就学児童 (n=265)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	児童手当やひとり親手当などの経済的な支援の充実	140	39.0	62	23.4
2	高等学校の入学もしくは進学後に必要な費用の支援(制服代、学費など)	104	29.0	110	41.5
3	大学・専門学校等の入学もしくは進学後に必要な費用の支援(入学金、学費など)	95	26.5	77	29.1
4	経済的に恵まれない児童の学習環境の確保(無料の学習塾など)	3	0.8	4	1.5
5	経済的に恵まれない児童の居場所の確保(子ども食堂など)	8	2.2	4	1.5
6	その他	9	2.5	8	3.0

家庭への経済的な支援についてみると、未就学児童では「児童手当やひとり親手当などの経済的な支援の充実」が39.0%、就学児童では「高等学校の入学もしくは進学後に必要な費用の支援(制服代、学費など)」が41.5%とそれぞれ最も高くなっています。

(7) 特別な事情のある児童の育成支援

No.	項目	未就学児童 (n=38)		就学児童 (n=56)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	家庭で育てられない児童を受け入れる施設や里親制度などの施策の充実	4	10.5	12	21.4
2	障がいのある児童の療育を行う施設・施策の充実	32	84.2	39	69.6
3	その他	2	5.3	5	8.9

特別な事情のある児童の育成支援についてみると、「障がいのある児童の療育を行う施設・施策の充実」が未就学児童で84.2%、就学児童で69.6%と最も高くなっています。

IV. 調査結果(一般成人調査)

1. あなたご自身について

Q1 (全員)	性別	1つ 選択
------------	----	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	男性	117	31.0
2	女性	261	69.0

0% 100%

Q2 (全員)	年齢	1つ 選択
------------	----	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	25歳以下	108	28.6
2	26~30歳	68	18.0
3	31~35歳	73	19.3
4	36歳以上	129	34.1

0% 50%

Q3 (全員)	職業	1つ 選択
------------	----	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	会社員	164	43.4
2	公務員	34	9.0
3	自営業	12	3.2
4	アルバイト・フリーター	46	12.2
5	専業主婦	50	13.2
6	学生	47	12.4
7	無職	11	2.9
8	その他	14	3.7

0% 50%

Q4 (全員)	婚姻状況	1つ 選択
------------	------	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	既婚	193	51.1
2	離婚	7	1.9
3	死別	2	0.5
4	未婚	176	46.6

0% 100%

Q4-1 (条件)	条件 Q4 で「1.既婚」を選択した方 共働きをしていますか。	1つ 選択
--------------	------------------------------------	----------

No.	項目	一般成人 (n=193)	
		件数	割合(%)
1	している	132	68.4
2	していない	61	31.6

0% 100%

Q5 (全員) 子どもの有無 あてはまるものすべて選択

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	乳幼児の子どもがいる	93	24.6
2	小学生の子どもがいる	81	21.4
3	中学生の子どもがいる	23	6.1
4	高校生以上の子どもがいる	12	3.2
5	社会人の子どもがいる	7	1.9
6	子どもはいない	215	56.9

0% 100%

Q5-1 (条件) 条件 Q5で「1.」~「5.」を選択した方 1つ選択
子どもは何人いますか。

No.	項目	一般成人 (n=163)	
		件数	割合(%)
1	1人	58	35.6
2	2人	68	41.7
3	3人	30	18.4
4	4人	5	3.1
5	5人	1	0.6
6	6人以上	1	0.6

0% 50%

Q6 (全員) 家族構成 1つ選択

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	単身世帯(1人暮らし)	27	7.1
2	夫婦のみ世帯	40	10.6
3	親と子の世帯	263	69.6
4	3世代世帯(親と子と孫)	39	10.3
5	その他	5	1.3
6	不明・無回答	4	1.1

0% 100%

Q7 (全員) お住まいの地区 1つ選択

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	小牧中学校区	86	22.8
2	味岡中学校区	59	15.6
3	篠岡中学校区	21	5.6
4	北里中学校区	34	9.0
5	応時中学校区	59	15.6
6	岩崎中学校区	35	9.3
7	桃陵中学校区	24	6.3
8	小牧西中学校区	23	6.1
9	光ヶ丘中学校区	19	5.0
10	わからない	18	4.8

0% 50%

2. 結婚観について

Q8 (全員)	あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。	それぞれ 1つ選択
------------	-------------------------	--------------

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(1) 一定年齢に達すれば 結婚するのが自然である		(2) 結婚することによって、それまで 以上に社会的信用が高まる		(3) 結婚をしないかは、 個人の自由である	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	とても思う	34	9.0	25	6.6	322	85.2
2	やや思う	116	30.7	128	33.9	51	13.5
3	わからない	73	19.3	76	20.1	2	0.5
4	やや思わない	76	20.1	71	18.8	1	0.3
5	まったく思わない	79	20.9	78	20.6	2	0.5

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(4) 結婚は人生の中の 大きな節目であり、 社会人としての自覚が高まる		(5) 結婚することによって、 心のやすらぎや充実感が得られる		(6) 結婚することによって、 仕事や家事などの面で 責任や負担が重くなる	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	とても思う	71	18.8	95	25.1	175	46.3
2	やや思う	148	39.2	138	36.5	145	38.4
3	わからない	57	15.1	92	24.3	29	7.7
4	やや思わない	52	13.8	32	8.5	17	4.5
5	まったく思わない	50	13.2	21	5.6	12	3.2

No.	項目	一般成人(n=378)	
		(7) 結婚することによって、 束縛され自由がなくなる	
		件数	割合(%)
1	とても思う	94	24.9
2	やや思う	153	40.5
3	わからない	52	13.8
4	やや思わない	55	14.6
5	まったく思わない	24	6.3

結婚に対する考えについてみると、「とても思う」が『結婚をしないかは、個人の自由である』で85.2%と最も高く、次いで『結婚することによって、仕事や家事などの面で責任や負担が重くなる』で46.3%となっています。

Q9 (全員)	最近は晩婚化・非婚化の傾向にあると言われていますが、 その理由は何だと思えますか。	あてはまるもの すべて選択
------------	--	------------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	仕事を持つ女性が増えて、女性自らの経済力が向上した	188	49.7
2	独身生活の方が自由である	219	57.9
3	家事・育児に対する女性の負担、拘束感が大きい	198	52.4
4	社会慣行としての見合いが減少した	55	14.6
5	結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった	158	41.8
6	結婚しなくても不便を感じない	220	58.2
7	仕事と結婚の両立ができない	99	26.2
8	女性の高学歴化が進んだ	42	11.1
9	結婚したくても交際相手がみつからない	135	35.7
10	わからない	5	1.3
11	その他	19	5.0

0% 100%

晩婚化・非婚化の理由についてみると、「結婚しなくても不便を感じない」が58.2%と最も高く、次いで「独身生活の方が自由である」が57.9%となっています。

Q10 (全員)	家庭での家事分担はどのようにするのがよいと思えますか。	1つ 選択
-------------	-----------------------------	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	2人で協力すべきだと思う	275	72.8
2	時間がある人がやればよい	43	11.4
3	できる人がやればよい	43	11.4
4	別の誰かに頼めばよい	4	1.1
5	わからない	8	2.1
6	その他	5	1.3

0% 100%

家庭での家事分担についてみると、「2人で協力すべきだと思う」が72.8%と最も高くなっています。

Q11 (全員)	家庭内での子育て、教育はどのようにするのがよいと思いますか。	1つ 選択
-------------	--------------------------------	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	2人で協力すべきだと思う	330	87.3
2	時間がある人がやればよい	15	4.0
3	できる人がやればよい	18	4.8
4	別の誰かに頼めばよい	2	0.5
5	わからない	7	1.9
6	その他	6	1.6

0% 100%

家庭内での子育て、教育についてみると、「2人で協力すべきだと思う」が87.3%と最も高くなっています。

Q12 (条件)	条件 今まで結婚したことがない方(Q4で「4. 未婚」を選択した方) あなたが現在結婚していない理由は何ですか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	--	------------------

No.	項目	一般成人 (n=176)	
		件数	割合(%)
1	結婚するには、まだ早いと思っているから	63	35.8
2	結婚をする必要性を感じないから	48	27.3
3	今の結婚制度ではあてはまらないから	-	-
4	今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから	38	21.6
5	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	53	30.1
6	結婚しなくても不便を感じない	65	36.9
7	適当な相手にめぐり会わないから	37	21.0
8	異性とうまく付き合えないから	52	29.5
9	経済的に余裕がないから	3	1.7
10	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	8	4.5
11	特にない・わからない	10	5.7
12	その他	6	3.4

0% 50%

現在結婚していない理由についてみると、「結婚しなくても不便を感じない」が36.9%と最も高く、次いで「結婚するには、まだ早いと思っているから」が35.8%となっています。

3. 子育てについて

Q13 (全員)	あなたの、子どもを持つことに対する考えに近いものはどれですか。	3つまで 選択
-------------	---------------------------------	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	家族の結びつきを強める	190	50.3
2	家族が明るく楽しくなる	245	64.8
3	子育てにより自分自身も成長していく	234	61.9
4	老後の扶養や介護を頼ることができる	30	7.9
5	跡継ぎができる	19	5.0
6	子は社会の宝である	82	21.7
7	子どもを持つことに意味を見出せない	18	4.8
8	わからない	23	6.1
9	その他	11	2.9

0% 100%

子どもを持つことに対する考えについてみると、「家族が明るく楽しくなる」が64.8%と最も高く、次いで「子育てにより自分自身も成長していく」が61.9%となっています。

Q14 (全員)	近年、合計特殊出生率(ひとりの女性が一生の間に生む子どもの人数の平均値。令和4年の全国平均は1.26)の低下が目玉され、国や県、市町村において様々な施策が行われていますが、依然として出生率は低下しています。あなたは、この原因をどのようにお考えですか。	3つまで 選択
-------------	---	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	経済的負担が大きいから	330	87.3
2	精神的・肉体的負担が大きいから	178	47.1
3	仕事と子育ての両立が困難だから	222	58.7
4	夫婦の生活を重視したいから	10	2.6
5	住宅が狭いなど、住居環境がよくないから	11	2.9
6	公園、遊び場が少ないなど、生活環境がよくないから	29	7.7
7	結婚しない人が増えたから	163	43.1
8	わからない	6	1.6
9	その他	12	3.2

0% 100%

合計特殊出生率の低下の理由についてみると、「経済的負担が大きいから」が87.3%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が困難だから」が58.7%となっています。

Q15 (全員)	あなたが理想とする子どもの人数は何人ですか。	1つ 選択
-------------	------------------------	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	0人	4	1.1
2	1人	20	5.3
3	2人	198	52.4
4	3人	82	21.7
5	4人	7	1.9
6	5人以上	7	1.9
7	特に理想はない	60	15.9

理想の子どもの人数についてみると、「2人」が52.4%と最も高く、次いで「3人」が21.7%となっています。また「特に理想はない」は15.9%となっています。

Q16 (条件)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">条件</div> 現在お子さんがいる方(Q5で「1.」～「5.」を選択した方)	1つ 選択
理想とする子どもの数と、実際の子どもの数に違いはありましたか。		

No.	項目	一般成人 (n=163)	
		件数	割合(%)
1	理想よりも実際の子どもの数が多い	8	4.9
2	理想と同じ子どもの数である	57	35.0
3	理想よりも実際の子どもの数の方が少ない	78	47.9
4	理想とする子どもの数が特にない	20	12.3

理想の子どもの数と実際の子どもの数の違いについてみると、「理想よりも実際の子どもの数の方が少ない」が47.9%と最も高く、次いで「理想と同じ子どもの数である」が35.0%となっています。

Q16 (条件)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">条件</div> Q16で「3.理想よりも実際の子どもの数の方が少ない」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
その理由は何ですか。		

No.	項目	一般成人 (n=78)	
		件数	割合(%)
1	子育ての身体的・精神的な負担が大きいから	43	55.1
2	子育てのための経済的な負担が大きいから	54	69.2
3	仕事と子育ての両立が困難だから	28	35.9
4	保育所などの子育てを支援してくれるサービスが十分でないから	11	14.1
5	自分自身の生活を楽しまたいから	9	11.5
6	自分または配偶者・パートナーの健康上の理由から	8	10.3
7	住宅が狭いなど、住居環境がよくないから	4	5.1
8	子どもをとりまく環境に不安があるから	10	12.8
9	子育てに自信がないから	10	12.8
10	その他	11	14.1

理想よりも実際の子どもの数の方が少ない理由についてみると、「子育てのための経済的な負担が大きいから」が69.2%と最も高く、次いで「子育ての身体的・精神的な負担が大きいから」が55.1%となっています。

Q17 (条件)	条件	現在お子さんがいる方(Q5で「1.」~「5.」を選択した方)	あてはまるもの すべて選択
	妊娠・出産・子育てを通じて困ったことや悩んだことはありますか。		

No.	項目	一般成人 (n=163)	
		件数	割合(%)
1	特にない	14	8.6
2	妊娠時の体調変化や健康管理	74	45.4
3	出産時の不安	77	47.2
4	子どもの健康	84	51.5
5	子どもの生活習慣(食事など)	70	42.9
6	子どもの性格	55	33.7
7	子どもの育て方(しつけ方)	104	63.8
8	子どものいじめの問題	38	23.3
9	自分の健康や体力への不安	43	26.4
10	自分の時間がない	61	37.4
11	職場で希望する休暇がとれない	20	12.3
12	配偶者・パートナーが協力的でない	28	17.2
13	配偶者・パートナーとの育児の方針があわない	24	14.7
14	祖父母など身近な協力者がいない	30	18.4
15	家計に余裕がない	60	36.8
16	安心して預けられる所がない	18	11.0
17	親同士のつきあい	22	13.5
18	住宅が狭い	17	10.4
19	妊娠・出産・子育てについて、相談できる相手・場所がない	6	3.7
20	その他	3	1.8

妊娠・出産・子育てを通じて困ったことや悩んだことについてみると、「子どもの育て方(しつけ方)」が63.8%と最も高く、次いで「子どもの健康」が51.5%となっています。
また「特にない」は8.6%となっています。

Q18 (全員)	次に挙げることがらのうち、どのようなことがあれば、 あなたは(もっと)子どもが欲しいと思うと思いますか。	3つまで 選択
-------------	---	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	特にない	39	10.3
2	妊娠・出産に伴う医療費の補助	152	40.2
3	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	39	10.3
4	産婦人科の充実	19	5.0
5	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	32	8.5
6	幼稚園・保育園などの充実	71	18.8
7	幼稚園・保育園などの費用の補助	97	25.7
8	地域や自治体の育児支援サービスの充実	36	9.5
9	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除	39	10.3
10	将来の教育費に対する補助	197	52.1
11	住居費用の補助	62	16.4
12	配偶者・パートナーの家事・子育てへの協力	59	15.6
13	自分または配偶者・パートナーの親の家事・子育てへの協力	11	2.9
14	勤務先の産休・育児休業制度	46	12.2
15	勤務先の育児短縮勤務制度	31	8.2
16	職場の理解	57	15.1
17	その他	10	2.6

0% 100%

どのようなことがあれば子どもが欲しいと思うかについてみると、「将来の教育費に対する補助」が52.1%と最も高く、次いで「妊娠・出産に伴う医療費の補助」が40.2%となっています。また「特にない」は10.3%となっています。

Q19 (全員)	子どもたちが成長し大人になる過程で、どのような経験をつみ、 どのような力をつけるべきだと思いますか。	2つまで 選択
-------------	---	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	自分はかけがえのない存在であると感じられ、それを基礎としていのちの大切さを理解することができるよう、いのちの授業等を通して学ぶことができること	180	47.6
2	「ひと」との関係の中で、相手の存在価値を認めることができ、家庭や学校や地域活動の中で、豊かな心を育みあう経験をする	182	48.1
3	成長過程の中で、さまざまな機会を通して学んだことを知識としてとどめるだけでなく、家庭や学校や地域活動の中で、自分の生きる力として活用できる経験をする	111	29.4
4	知識や経験をもとに、家庭や学校や地域活動の中で、成長の過程の中で起きる様々な事柄について正しく判断・決定する経験をする	138	36.5
5	わからない	35	9.3
6	その他	8	2.1

0% 50%

子どもたちが成長する過程でどのような経験をつみ、どのような力をつけるべきだと思うかについてみると、「ひと」との関係の中で、相手の存在価値を認めることができ、家庭や学校や地域活動の中で、豊かな心を育みあう経験をする」が48.1%と最も高く、次いで「自分はかけがえのない存在であると感じられ、それを基礎としていのちの大切さを理解することができるよう、いのちの授業等を通して学ぶことができる」が47.6%となっています。

5. 保育料無償化について

Q22 (全員)	市独自の少子化対策の拡充として、市内保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(17園)の保育料を令和5年4月から無償としていることを知っていますか。	1つ 選択
-------------	--	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	知っている	152	40.2
2	知らない	226	59.8

0% 100%

保育料無償化を知っているかについてみると、「知らない」が59.8%となっています。

Q22 (条件)	条件	Q22で「1. 知っている」を選択した方 無償化の情報をどこで知りましたか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	----	---	------------------

No.	項目	一般成人 (n=152)	
		件数	割合(%)
1	市ホームページ	50	32.9
2	市公式LINE	15	9.9
3	新聞、テレビ	20	13.2
4	友人・知人から	68	44.7
5	SNS	8	5.3
6	その他	17	11.2

0% 50%

保育料無償化の情報をどこで知ったかについてみると、「友人・知人から」が44.7%と最も高く、次いで「市ホームページ」が32.9%となっています。

Q22 (条件)	条件 Q22で「2.知らない」を選択した方 普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	---	------------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	特に情報を必要としていない	124	32.8
2	市ホームページ	23	6.1
3	市公式LINE	22	5.8
4	新聞、テレビ	29	7.7
5	友人・知人から	40	10.6
6	SNS	33	8.7
7	その他	7	1.9
8	不明・無回答	153	40.5

0% 50%

子育ての情報をどのようなものから得ているかについてみると、「友人・知人から」が10.6%と最も高く、次いで「SNS」が8.7%となっています。

また「特に情報を必要としていない」は32.8%となっています。

Q23 (全員)	保育料の無償化は少子化対策に効果的だと思いますか。	1つ 選択
-------------	---------------------------	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	とても効果的である	133	35.2
2	効果的である	128	33.9
3	あまり効果的でない	54	14.3
4	効果的でない	19	5.0
5	わからない	44	11.6

0% 50%

保育料無償化は少子化対策に効果的だと思うかについてみると、「とても効果的である」が35.2%と最も高く、次いで「効果的である」が33.9%となっています。

6. 地域の中での子育てについて

Q25 (全員)	近年、共働き家庭の増加や核家族化にともない、放課後の児童の過ごし方が注目されています。 放課後の児童について、塾や習い事で多忙だと思いますか。	1つ 選択
-------------	--	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	多忙だと思う	181	47.9
2	多忙だとは思わない	61	16.1
3	わからない	136	36.0

0% 100%

児童が塾や習い事で多忙だと思うかについてみると、「多忙だと思う」が47.9%となっています。

Q25 (条件)	条件 Q25で「1. 思う」を選択した方 多忙だと思う理由は何ですか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	--	------------------

No.	項目	一般成人 (n=181)	
		件数	割合(%)
1	睡眠が不足しているように感じる	77	42.5
2	集中力が欠けているように感じる	29	16.0
3	自分の子どもの頃に比べると多忙に感じる	129	71.3
4	本人から聞いたり、ほかの保護者との会話で見聞きしたりすることがある	37	20.4
5	本人が塾や習い事を辞めたいと言っている	7	3.9
6	その他	9	5.0

0% 100%

多忙だと思う理由についてみると、「自分の子どもの頃に比べると多忙に感じる」が71.3%と最も高く、次いで「睡眠が不足しているように感じる」が42.5%となっています。

Q26 (全員)	放課後の児童について、放課後児童クラブなどが終わったあとは、いつも何時に帰宅するべきだと思いますか。	1つ 選択
-------------	--	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	わからない	77	20.4
2	午後4時よりも前	11	2.9
3	午後4時から午後5時よりも前	89	23.5
4	午後5時から午後6時よりも前	140	37.0
5	午後6時から午後7時よりも前	52	13.8
6	午後7時から午後8時よりも前	7	1.9
7	午後8時よりも後	2	0.5

0% 50%

児童が何時に帰宅するべきと思うかについてみると、「午後5時から午後6時よりも前」が37.0%と最も高く、次いで「午後4時から午後5時よりも前」が23.5%となっています。

Q27 (全員)	放課後の児童について、児童が放課後を父母や親族と一緒に生活できず、1日の学校生活を終えてもすぐに家族と接することができない児童が増えています。 このような児童の成長の過程として、あなたが望ましいと思う放課後の過ごし方をお答えください。	3つまで 選択
-------------	--	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	わからない	47	12.4
2	自宅で学習や読書をする	63	16.7
3	自宅で自由に過ごす(テレビやゲームなど)	72	19.0
4	祖父母等の親族の家で過ごす	83	22.0
5	友達と自由に過ごす	152	40.2
6	学習塾に行く	16	4.2
7	ピアノや習字などの習い事(地域のスポーツクラブ含む)	66	17.5
8	部活動に参加する	125	33.1
9	児童館に行く	87	23.0
10	放課後子ども教室に行く	55	14.6
11	児童クラブに行く	103	27.2
12	地域のボランティア活動に参加する	23	6.1
13	その他	6	1.6

0% 50%

児童の成長の過程として望ましいと思う放課後の過ごし方についてみると、「友達と自由に過ごす」が40.2%と最も高く、次いで「部活動に参加する」が33.1%となっています。

Q28 (全員)	児童虐待などの子育てについての問題についてうかがいます。 虐待予防のために、あなた自身はどのようなことができると思いますか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	---	------------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	公園や児童館などで孤立している(しそうな)親子に声をかける	65	17.2
2	自分のまわりの親子に意識を向ける	158	41.8
3	自分のまわりの親子に声をかける	56	14.8
4	自分のまわりの子どもをほめる・叱る	40	10.6
5	市役所や児童相談所へ電話(通報)する	170	45.0
6	何もできることはない	29	7.7
7	わからない	60	15.9
8	その他	5	1.3

0% 50%

児童虐待予防のために自身ができると思うことについてみると、「市役所や児童相談所へ電話(通報)する」が45.0%と最も高く、次いで「自分のまわりの親子に意識を向ける」が41.8%となっています。

Q29 (全員)	あなたは、地域の中で子どもたちのためにどのような活動に参加されていますか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	---------------------------------------	------------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	特に活動に参加していない	314	83.1
2	子どものサークル活動(読書会、映画会、人形劇など)	-	-
3	近所の子どもの世話	6	1.6
4	スポーツ・レクリエーションの指導	9	2.4
5	子ども会活動	23	6.1
6	近所の子どもの勉強をみてあげる	4	1.1
7	障がいのある子どものためのボランティア	1	0.3
8	保育所・幼稚園、学校の保護者会、PTA活動	32	8.5
9	児童館や子育て世代包括支援センター等での活動	7	1.9
10	その他	4	1.1

0% 100%

子どもたちのための活動への参加状況についてみると、「保育所・幼稚園、学校の保護者会、PTA活動」が8.5%と最も高く、次いで「子ども会活動」が6.1%となっています。

また「特に活動に参加していない」は83.1%となっています。

Q30 (全員)	あなたは、今後子どもたちのためにボランティア活動をしたいと思いますか。また、現在活動中の方は、今後とも活動を続けて行きたいと思いますか。	1つ 選択
-------------	--	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	ぜひ活動したい	14	3.7
2	できれば活動したい	69	18.3
3	子育てが終わったらその経験を活かした活動をしたい	71	18.8
4	あまり活動したいと思わない	159	42.1
5	まったく活動したいと思わない	65	17.2

0% 50%

子どもたちのためのボランティア活動への参加意向についてみると、「あまり参加したいと思わない」が42.1%と最も高く、次いで「子育てが終わったらその経験を活かした活動をしたい」が18.8%となっています。

Q30 (条件)	条件	Q30で「1.」～「3.」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
どのようなボランティア活動をしたいと思いますか。			

No.	項目	一般成人 (n=154)	
		件数	割合(%)
1	特に活動に参加していない	-	-
2	子どものサークル活動(読書会、映画会、人形劇など)	30	19.5
3	子育ての経験を活かした相談	29	18.8
4	近所の子どもの世話	36	23.4
5	スポーツ・レクリエーションの指導	36	23.4
6	子ども会活動	16	10.4
7	近所の子どもの勉強をみてあげる	21	13.6
8	障がいのある子どものためのボランティア	18	11.7
9	保育所・幼稚園、学校の保護者会、PTA活動	19	12.3
10	児童館や子育て世代包括支援センター等での活動への協力	27	17.5
11	その他	4	2.6

0% 50%

どのようなボランティア活動をしたいかについてみると、「近所の子どもの世話」「スポーツ・レクリエーションの指導」が23.4%と最も高く、次いで「子どものサークル活動(読書会、映画会、人形劇など)」が19.5%となっています。

Q31
(全員)

児童が健全に成長するために、地域に期待することは何ですか。

あてはまるもの
すべて選択

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	特にない	55	14.6
2	児童が参加できる活動を行う(映画会、読み聞かせ等)	96	25.4
3	積極的に児童の育成(しつけ)に関わる【しかる・ほめる】	67	17.7
4	学校の放課後活動(部活動)を支援する	135	35.7
5	子どもの活動に親(保護者)たちの積極的な参加を促す	24	6.3
6	気軽に情報交換や相談ができる場や子育てサークルなどを主催し、保護者の子育てを支援する	107	28.3
7	地域の会館などを利用して、宿題や勉強の支援を行う	100	26.5
8	連携を取り合い、地域で子どもたちの自主的な活動を育成・支援する	80	21.2
9	登下校の安全確認や非行防止活動を行う	181	47.9
10	児童が地域活動に参加できる場をつくる(清掃ボランティア等)	54	14.3
11	その他	10	2.6

児童が健全に成長するために地域に期待することについてみると、「登下校の安全確認や非行防止活動を行う」が47.9%と最も高く、次いで「学校の放課後活動(部活動)を支援する」が35.7%となっています。また「特にない」は14.6%となっています。

Q32
(全員)

子どもを健やかに育てる上で、地域で感じられる問題の深刻度について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

1つ
選択

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(1) 子どもたちが安全で自由に遊べる 場所が地域に少ない		(2) 道路の道幅・段差などが子どもに とって安全でない		(3) 子どもをねらった犯罪が多い	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	深刻な問題である	146	38.6	117	31.0	259	68.5
2	問題である	139	36.8	145	38.4	70	18.5
3	あまり問題でない	59	15.6	72	19.0	16	4.2
4	まったく問題でない	3	0.8	16	4.2	2	0.5
5	わからない	31	8.2	28	7.4	31	8.2

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(4) 子どもの健康に有害な物質のおそれ (大気汚染、添加物、たばこの煙 など)		(5) 母子・小児の医療機関が充実して いない		(6) 地域で子どもをしつける(しかる・ ほめる)大人が少ない	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	深刻な問題である	162	42.9	162	42.9	60	15.9
2	問題である	138	36.5	112	29.6	137	36.2
3	あまり問題でない	49	13.0	56	14.8	118	31.2
4	まったく問題でない	2	0.5	11	2.9	18	4.8
5	わからない	27	7.1	37	9.8	45	11.9

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(7) 地域で育児を助け合うような環境 が十分整備されていない		(8) 子どもが高齢者と接する機会が少 ない		(9) 子ども同士の交流が少ない	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	深刻な問題である	93	24.6	37	9.8	114	30.2
2	問題である	158	41.8	101	26.7	160	42.3
3	あまり問題でない	71	18.8	156	41.3	54	14.3
4	まったく問題でない	9	2.4	36	9.5	7	1.9
5	わからない	47	12.4	48	12.7	43	11.4

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(10) ネットやスマホとの関わり方やトラ ブルのおそれがある		(11) いじめなど人間関係のトラブルの おそれがある		(12) 子どもが参加できるような地域で の活動が少ない	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	深刻な問題である	221	58.5	223	59.0	43	11.4
2	問題である	109	28.8	103	27.2	147	38.9
3	あまり問題でない	17	4.5	18	4.8	120	31.7
4	まったく問題でない	9	2.4	7	1.9	13	3.4
5	わからない	22	5.8	27	7.1	55	14.6

No.	項目	一般成人(n=378)	
		(13) 障がい児の育成のための施設が不 足している	
		件数	割合(%)
1	深刻な問題である	115	30.4
2	問題である	161	42.6
3	あまり問題でない	28	7.4
4	まったく問題でない	7	1.9
5	わからない	67	17.7

子どもを育てる上での地域の問題の深刻度についてみると、「深刻な問題である」が『子どもを狙った犯罪が多い』で68.5%と最も高く、次いで『いじめなど人間関係のトラブルのおそれがある』で59.0%となっています。

V. その他回答・自由記述

1. その他の回答（未就学児童調査・就学児童調査）

未就 Q4 (全員)	就学 Q4	この調査票にご回答いただく方はどなたですか。 ※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。	その他
------------------	----------	--	-----

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
祖父	1	祖父母	1
祖母	1		
叔母	1		

未就 Q6 (全員)	就学 Q6	あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。	その他
------------------	----------	--	-----

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
叔父、叔母	1	父母、祖父母、叔母	1
祖母、曾祖母	1		

未就 Q7 (全員)	就学 Q7	あて名のお子さんとの同居・近居(おおむね 30 分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお答えください。	その他
------------------	----------	--	-----

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
親族同居	11	親族同居	6
親族近居	8	親族近居	4
祖父母が遠方に住んでいる	3	祖父母が遠方に住んでいる	1
父が別居	1		
母が海外にいる	1		
なし	1		

未就 Q8 (全員)	就学 Q8	子育てに関して、日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。	その他
------------------	----------	--	-----

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
保育園に入れないこと	3	スマートフォン、ゲーム機の使用時間	2
祖父母との子育てに関する意見の違い	2	子どもの性格のこと	2
障がい者の将来のこと	2	反抗期のこと	1
幼稚園の利用者に対する人的・金銭的なサポートが少ないこと	1	PTA、子ども会のこと	1
アレルギーのこと	1	勉強のこと	1
偏食であること	1	子育てと仕事の両立のこと	1
授乳拒否をすること	1	生活リズムのこと	1
夜泣き	1	相談のこと	1
子育ての手が足りないこと	1		
子どもの性格のこと	1		
近所に同い年の子がいないこと、言葉の発達が遅れていること	1		
子どもと自分に友達がいらないこと、子育ての相談ができる人が父親以外にいないこと	1		
お金のこと	1		

未就 Q9 (条件)	就学 Q9	条件 Q8で、「2.」～「20.」を選択した方	その他
子育てに関する悩みや不安を誰(どこ)に相談していますか。			

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
児童発達支援施設	4	放課後等デイサービス	3
放課後等デイサービス	3	学校のカウンセラー	2
助産院	2	療育の先生	1
SNS	1	習い事	1
ケアマネージャー	1	育児本を読む、育児に関するテレビ番組を見る、インターネット検索	1
園のカウンセリング	1	発達科学コミュニケーションのアンバサダーをしていて子育てを勉強している	1
相談はしない	1		

未就	就学	あなたは、お子さんの小学校入学について、何か不安はありますか。	その他
Q11	Q11		
(全員)			

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
学校が遠いこと	4	授業・勉強に関すること	6
防犯・防災に関すること	3	学校生活に関すること	4
子育てと仕事の両立に関すること	2	児童クラブに関すること	2
教員に関すること	2	学校が遠いこと	1
児童クラブに関すること	2	教員に関すること	1
PTAに関すること	2	PTAに関すること	1
子どもの持病・障がいに関すること	2	給食に関すること	1
授業・勉強に関すること	2	人間関係に関すること	1
給食に関すること	1	学校の体制に関すること	1
登校拒否に関すること	1	学級閉鎖・送り迎えに関すること	1
人間関係に関すること	1		

未就	就学	条件 Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	その他
Q21	-	あて名のお子さんは、平日にどのような施設やサービスを利用していますか。	
(条件)			

内容(未就学児童)	件数
児童発達支援施設	15
職場の託児所	2
保育園の一時預かり	2
放課後等デイサービス	1
インターナショナルスクール	1
託児所	1
幼稚園後、児童発達支援施設	1

未就	就学	条件	Q20 で、「2. 利用していない」を選択した方	その他
Q26	-	利用していない理由として、あてはまるものをお答えください。		
(条件)				

内容(未就学児童)	件数
子どもがまだ小さいため	9
育休中のため	4
来年度入園予定のため	4
第二子出産に伴い、上の子が強制退園になってしまったため	2
利用条件に当てはまらないため	2
今は利用する必要がないため	2
利用したいが、利用方法がわからないため	1
療育施設に通っているため	1
あまり預けたくないため	1

未就	就学	(全員)	現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に「定期的に」利用したいと考える施設や保育サービスをお答えください。	その他
Q31	-			

内容(未就学児童)	件数
児童館	2
児童発達支援施設	1
病児保育	1
今は利用を考えていない	1

未就	就学	条件	Q39 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選択した方	その他
Q38	-	毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。		
(条件)				

内容(未就学児童)	件数
出勤日であるため・仕事が不定期であるため	9
他の子どもの用事を済ませるため	2

未就	就学	条件	Q28(未就学児童)・Q35(就学児童)で、「1. あった」を選択した方	その他
Q29	Q36	あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している【未就学児童】幼稚園や保育園等／【就学児童】小学校が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法とその日数をお答えください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。		
(条件)				

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
在宅ワークをした	3	在宅ワークをした	10
		自宅が仕事場のため対処不要	1

未就	就学	あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で保育サービスを不定期に利用していますか。	その他
Q41	-		
(全員)			

内容(未就学児童)		件数
通っている保育園		1
事業所内の保育所		1

未就	就学	この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、このアンケートを受け取ったお子さんを「一時的に」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)	その他
-	Q38		
(全員)			

内容(就学児童)		件数
預け先が見つからなかった		7
子どもだけで留守番をさせた		3
友人		1
児童相談所		1
放課後等デイサービス		1

未就	就学	あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい保育サービスを利用する必要があると思いますか。	その他
Q42	-		
(全員)			

内容(未就学児童)		件数
親の体調不良		3

未就	就学	条件	Q42 で、「1. 利用する必要がある」を選択方	その他
Q43	-	(条件)	Q42 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。	

内容(未就学児童)		件数
会社に保育所を設置		1
自宅に訪問		1
夜間の預かり		1

未就	就学	保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。	その他
Q44	Q39		
(全員)			

内容(未就学児童)		件数
仕事		1
病院		1
預け先がない		1

未就	就学	このアンケートを受け取ったお子さんは、放課後(平日の小学校終了後)は何をして過ごすことが多いですか。平日の過ごし方についてお答えください。	その他
-	Q20		
(全員)			

内容(就学児童)		件数
家で兄弟と過ごす		1

未就	就学	このアンケートを受け取ったお子さんは、休日(土曜、日曜、祝日)は何をして過ごすことが多いですか。休日の過ごし方についてお答えください。	その他
-	Q21		
(全員)			

内容(就学児童)		件数
兄弟と過ごす		2
合唱団活動		1
絵を描く		1

未就	就学	条件 Q20 もしくは Q21 で、「10. 放課後児童クラブに行っている」を選択した方	その他
-	Q22	放課後児童クラブを良くするためにしてほしいことは何ですか。	
(条件)			

内容(就学児童)		件数
食事の提供		3
利用条件の緩和		3
祝日の利用		1
学習指導		1
欠席連絡を学校と一括でできるようにする		1
児童クラブでも学校図書館を利用できるようにする		1
無償化		1
防犯対策の強化		1

未就	就学	条件 Q27で、「3. どちらかといえば十分だと思わない」「4. 十分だと思わない」を選択した方	その他
-	Q27	その理由をお答えください。	
(条件)			

内容(就学児童)	件数
仕事で時間が取れないため	52
家事などやることに追われて時間が取れないため	39
時間が足りていないと感じるため	24
他の子どもの世話にも時間を取られるため	10
子どもが自分の時間を優先しているため	7
子どもの習い事が忙しいため	7
帰宅時間が遅いため	6
学校で過ごす時間が長いため	3
子どもと時間が合わないため	2
子どもに構う余裕がないため	2
家事など他のことをやりながらになってしまうため	2
子どもが喧嘩ばかりしていてゆったり過ごす時間が取れないため	2
平日の食事を共にできない時があるため	1
伝達事項がなければゆっくり話すことはないため	1
学校などの様子について、子どもから聞くより他から入ってくる情報のほうが多いため	1
子どもから自発的に話すことがなく、聞いてもあまり答えがないため	1
子どもが学校から帰宅するととても疲れているため	1

未就	就学	条件 Q27で、「3. どちらかといえば十分だと思わない」「4. 十分だと思わない」を選択した方	その他
-	Q28	その理由をお答えください。	
(条件)			

内容(就学児童)	件数
仕事で時間が取れないため	21
家事などやることに追われて時間が取れないため	8
他の子どもの世話にも時間を取られるため	7
子どもの習い事が忙しいため	5
子どもが自分の時間を優先しているため	5
時間が足りていないと感じるため	2
子どもに構う余裕がないため	2
子どもが反抗期で親と過ごすのを嫌がるため	2
子どもと休みが合わないため	1

未就	就学	条件 Q29 で、「1. 思う」を選択した方	その他
-	Q29	その理由をお答えください。	
(条件)			

内容(就学児童)		件数
習い事が多いから		6
送迎など、自分(親)が多忙だと感じているから		2
本人が遊ぶ時間が足りないと感じているから		2
本人のやりたいことが多いから		2
帰宅時間が遅いから		2

未就	就学	お子さんについて、現在利用している場所も含めて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。希望する過ごし方についてお答えください。	その他
-	Q30		
(全員)			

内容(就学児童)		件数
本人が望むように過ごさせたい		4

未就	就学	お子さんについて、現在利用している場所も含めて、休日の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。希望する過ごし方についてお答えください。	その他
-	Q31		
(全員)			

内容(就学児童)		件数
本人が望むように過ごさせたい		3
家の掃除		1
山登り		1
自宅以外の過ごせる場所		1

未就	就学	条件 Q51(1)、(2)で「3. 取得していない」を選択した方	その他
Q52	-	育児休業を取得していない理由としてあてはまるものをお答えください。	
(条件)			

【母親】

内容(未就学児童)	件数
自営業のため	5
育児をしながら仕事をすることが可能なため	2
父親がいるため	1
解雇されたため	1

【父親】

内容(未就学児童)	件数
自営業のため	9
取得する必要がなかったため	8
取得したくてもできなかったため・休みを取りづらかったため	7
有給休暇・数日の休みのみ取得したため	7
取得するという発想がなかったため	4
在宅ワーク・時短勤務に切り替えたため	2
転職したばかりだったため	2
取得条件を満たしていなかったため	1
産前産後の休暇を取得できることを知らなかったため	1
単身赴任中だったため	1
祖父母に反対されたため	1
これから取得予定のため	1
生まれてから職についたため	1
里帰りしたため	1
子どもを見るのは当たり前	1
特に理由はない	1

未就	就学	条件 Q41 で、「1. 感じる」を選択した方	その他
-	Q41	どのような場合に、公立の施設と私立の施設のちがいを感しましたか。	
(条件)			

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
保育・対応の質のちがい	17	保育・対応の質のちがい	14
設備のちがい	16	設備のちがい	13
保育の内容の違い	15	保育の内容の違い	8
教育の内容・カリキュラムのちがい	11	教育の内容・カリキュラムのちがい	6
保育の時間のちがい	4	行事のちがい	5
行事のちがい	3	保育の時間のちがい	3
運営方針のちがい	2	運営方針のちがい	2
料金のちがい	2	料金のちがい	1
利用条件のちがい	2		

未就	就学	条件 Q60(未就学児童)・Q43(就学児童)で、「1. 知っている」を選択した方	その他
Q60	Q43	無償化の情報をどこで知りましたか。	
(条件)			

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
保育園	16	保育園	11
広報・市からのお知らせ	8	他の子どもが通っている施設	9
他の子どもが通っている施設	5	広報	9
市役所	5	掲示物	3
職場	4	幼稚園	3
子育て支援センター・児童館	4	職場	2
保育料通知の手紙	3	保健センター	1
市長選挙の公約	2	このアンケート	1
幼稚園	2	わからない	1
掲示物	2		
助産師	1		
わからない	3		

未就 Q61 (全員)	就学 Q44	保育料の無償化は少子化対策に効果的だと思いますか。 (そう思う理由)	自由記 述
-------------------	-----------	---------------------------------------	----------

【効果的だと思う】

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
経済的に助かるため	163	経済的に助かるため	98
経済的な問題が減ると子どもを産もうと思う家庭が増えると思うため	52	経済的な問題が減ると子どもを産もうと思う家庭が増えると思うため	22
仕事と子育ての両立がしやすくなるため	37	仕事と子育ての両立がしやすくなるため	20
いいと思うが、効果的かはわからない	10	保育を利用しやすくなるため	7
効果的だと思うが、入園ができない	4	生活や心に余裕が生まれるため	2
保育を利用しやすくなるため	2	やらないよりは効果があると感じるため	2
子どものことにお金をかけてくれることが嬉しく感じるため	2	料金を気にせず子どもに合った施設を探せるため	1
今無償化によって、母親の産後の選択肢が増えると思うため	1	もっと環境整備と周知活動が必要である	1
の子ども数をキープするには効果的だと思うが、増やすのには効果はないと思う	1	嘘について入園している人もいるため納得はしていない	1
無償化はありがたいが、1,000円程徴収されたほうが安心できる	1		
無償化に伴い土曜日に弁当が必要になったことが手間に感じる	1		

【効果的だと思わない】

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
そもそも入園ができないため	25	保育料無償化だけでは不十分なため・就学後のほうが経済的負担が大きい	47
保育料無償化だけでは不十分なため・就学後のほうが経済的負担が大きい	20	少子化問題とは関係ないと思うため	23
少子化問題とは関係ないと思うため	19	他の面での支援が必要と思うため	14
他の面での支援が必要と思うため	19	そもそも入園ができないため	9
仕事と子育ての両立支援が必要と思うため	3	仕事と子育ての両立支援が必要と思うため	7
子育て支援にはなるが、少子化対策にはならない	3	無償化にしなくてもよいと思うため	6
就業支援にはなるが、少子化対策にはならない	2	そもそも保育を利用しないため	3
無償化もいいが、年子の場合の退園制度をなくすべきだと思うから	2		
少子化は時代の流れであるため	2		
3人目が無償なら3人目を考えるが、1人から無償だとそれ以上望まない可能性があるため	1		
情報発信が少なく、知られていないため	1		
すべての園が対象ではないため	1		
子どもと過ごす時間が短く愛情を注げないなら産まないほうが良いと思うため	1		
無償化になっても支出は変わらないため	1		
家庭ごとにちがった事情があるため	1		

未就	就学	普段、子育てについてどのようなものから情報を得ていますか。	その他
Q62	Q45		
(全員)			

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
インターネット・SNS	16	本・雑誌	5
本・雑誌	4	インターネット・SNS	4
児童館	4	職場	3
利用している施設の職員	4	学校からの配布物	3
健診などの配布物	1	発達化学コミュニケーション	1

未就	就学	条件 Q63(未就学児童)・Q46(就学児童)で、「1. とともある」「2. とときある」「3. まれにある」を選択した方	その他
Q63	Q46		
(条件)			
		そのように感じる理由をお答えください。	

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
頼れる人がいないため・1人で育児しなければならないため	68	疲れてしまい余裕がないため	38
自由な時間・1人の時間が取れないため	66	自由な時間・1人の時間が取れないため	27
疲れてしまい余裕がないため	55	子どもが反抗的な態度を取ることがあるため	26
子どもが反抗的な態度を取ることがあるため	44	頼れる人がいないため・1人で育児しなければならないため	26
思い通りにいかないため	35	仕事と子育ての両立が難しいため	24
子どもの体調不良・障がい・発達のことで悩んでしまうため	30	子育ての正解がわからないため	15
仕事と子育ての両立が難しいため	28	子どもとの関わり方がわからない時があるため	15
他の子どもの世話もしなければならないため	23	思い通りにいかないため	13
自分の体調が悪い時も子どもを優先しないとイケないため	23	子ども同士のけんかやトラブルがあるため	13
子どもが泣き止まない時があるため	19	子どもの体調不良・障がいのことで悩んでしまうため	10
子どもとの関わり方がわからない時があるため	18	自分の体調が悪い時も子どもを優先しないとイケないため	4
子育ての正解がわからないため	18	支援が不足していると感じるため	3
子ども同士のけんかやトラブルがあるため	10	学校のやり方が納得いかないため	3
体力的に大変なため	4	将来が不安なため	1
子どもに友達ができるか心配なため	3		
子どもを連れて行ける遊び場所が少ないため	2		
経済的に不安があるため	2		
支援・情報が不足していると感じるため	2		
子どもが母親離れできていないため	1		
将来が不安なため	1		
子どもの質問に曖昧にしか答えられないため	1		

未就	就学	条件 Q49 で、「4. 子ども会は知っているが、加入はしていない」を選択した方	その他
-	Q49	その理由をお答えください。	
(条件)			

内容(就学児童)	件数
仕事があるため	4
加入している子どもが少ないため	3
途中退会ができないため	2
お金がかかるため	1

未就	就学	あなたは、子ども会活動は今後必要であると思いますか。	その他
-	Q50		
(全員)			

内容(就学児童)	件数
わからない	12
どちらともいえない	10
参加したい人は参加すればいい	10
親の負担を軽くするべき	6
あったほうがいいが現状難しいと思う	6
あったほうがいいが運営を見直すべき	6
付き合いとしては必要	2
低学年には必要だが、高学年には必要ない	1
必要だが、親が入会を快く思っていない	1
役員は大変だが、子どもの交流の場として必要	1
町内会があれば十分	1
みんなが同じ意識で動けるのであれば必要	1
子ども会がなくても子どものイベントがある	1

【必要であると思う理由】

内容(就学児童)	件数
子どもにとっても大人にとっても交流・つながりを持つ機会になるため	75
子どもが楽しんでいるため	14
地域とかかわるきっかけになるため	4
参加したい人は参加すればいいと思うため	3
子どもだけで遊ばせたくないため	1
役割負担がないならあってもよい	1
必要だが、加入している人が少ないのであればなくてもよい	1

【必要性を感じない理由】

内容(就学児童)	件数
保護者・役員の負担が大きい	76
入らなくても特に不便を感じない	20
忙しくて活動に参加できない	14
仲のいい子がいない・子ども会がなくても交流できる	12
参加したいと思えない・必要性がわからない	12
子どもの人数が減っている	12
行事が少なく、子ども会でやる必要はない	9
他のことに時間を使いたい	8
子どもの成長に必要ないと感じる	4
地域に子ども会がない・あるのか知らない	4
参加したい人は参加すればいいと思う・自由参加でいいと思う	3
地域によって必要性・重要度は様々だ	1
活動内容がわかりにくいので参加しづらい	1

未就	就学	子育て支援に関して、どのようなことを市の施策として期待しますか。	その他
Q66	Q51		
(全員)			

【未就学児童】(一部抜粋)

内容(未就学児童)
小規模認可外保育所も無償化とは言わないが、補助金などがあると助かります。
幼稚園の施設運営側および利用者に対する支援。
希望すれば保育園に預かれるようにしてほしい。
子供を保育園の幼児クラスに入れている最中に出産し為に保育園を退園する事になりました。退園しなくてもいいシステムが必要。
①例えば子どもが急に体調を崩し、お迎えが必要になったときに、お迎えを代行、保護者の帰宅まで預かってもらえるサービス。②病児・病後保育室の拡充。③各種代行サービス利用のためのクーポン券。
散歩しているような高齢者が、保育に参加する。
中小による男性育休への理解と強制化、子育てしている親が気分転換できるカフェや施設の設備。
病理保育の拡大。
自分達だけでなく、高齢者の生活も潤ってほしいと感じる。今は大変でも、将来に対する不安はある。
色々な学びが体験できると嬉しいです。
子供を敵対視するクレームに対処してもらいたい。もちろん飛び出しや破損などは別だが、遊ぶ時の声がうるさいやバスの音が五月蝋いと言われ幼稚園バスの利用に気を遣わざるを得なくなる。

【就学児童】(一部抜粋)

内容(就学児童)
交通機関が悪く障害のあるものには居住しづらい。
乳幼児の時は、こちらからアクセスすれば、十分なサービスが受けることができました。小学校に上がり、地域との関係ができてくると、関係があっても関係がわからないなんとも表現しにくいのですが、やりにくさを感じています。
公立高校の給食支給と無償化。
無償化などはもちろん助かりはしますが子育てばかりに力を入れすぎていると思っている。
減税が平等、低所得者ばかりの支援になっている。
放課後の過ごす場の充実。
塾、習い事への送迎支援。
幼児期の預け先の充実。
児童クラブの充実。学習塾の参入とか、ある程度お金がかかっても参加したい人はいると思う。
給食時の食物アレルギー対応。
近くに公園がなくて、子どもが友達同士で遊ぶことが難しい。近所にバドミントンができるくらいのスペースがほしい。
通学路の安全確保。
土日祝関係なく働いている家庭では預かり施設がしっかりあるといい。祖父母が居ない家庭もあるので考慮して欲しい。
トワイライトの設置。
高収入者にも収入関係なく同じ様に優しい対応をしてほしい。
自治会の廃止。

(1) 妊娠・出産期の支援

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
他の子どもの対応	2	頼れる相手がない人のためのコミュニティ	1
産後ケア	2	退職・休職中の人への経済的な支援	1
家事代行	2		
タクシー券の配布	1		

(2) 子育てしやすいまちの環境面の充実

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
歩道・道路の整備	5	図書館の座席の充実	1
公園・遊び場の充実	3	小牧駅前の有効活用	1
自治会行事の削減	1	学校の耐震設備の充実	1
大型ショッピングモールの誘致	1	防犯対策の強化	1
子育てだけでなく自分のことも大切にできるサービス	1	子どもに限らず様々な人への思いやり、気遣いができる社会への啓発	1
子どもと一緒にいけるカフェ	1	公園や児童館の増設、体験できる催しの充実	1
児童虐待防止のための見守り	1		
保育園に入りやすいなどの安心感	1		
子育て後の生活が安心できる保証	1		
民間事業者ではなく、国の管理資格がある団体の管理された施設	1		

(3) 様々な遊びや体験の場の整備

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
交通公園、自転車の練習ができる公園の整備	1	-	-
未就学児が遊びやすい施設の拡充	1		
子どもの声を騒音と言われない環境	1		

(4) 子育てに関する交流や相談の場の整備

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
相談先や専門知識を持つ人材の充実	1	障害や発達障害に対する専門的、医学的な相談	1

(5) 保護者の就労支援

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
児童クラブの利用条件の緩和	2	時短勤務など柔軟な働き方の推奨	4
預け先の確保	2	預け先の確保	2
塾や習い事の送り迎えサービス	1	預け先の利用条件の緩和	2
時短勤務など柔軟な働き方の推奨	1	仕事と子育ての両立支援	1
仕事と子育ての両立支援	1	市内就職支援	1
		料金設定	1
		児童クラブから児童館への送り迎え	1

(6) 家庭への経済的な支援

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
ひとり親・低所得世帯に限らない一律の経済的な支援	5	ひとり親・低所得世帯に限らない一律の経済的な支援	2
給食費の無償化	1	子どもが扶養を外れても3人目には変わらず支援してほしい	1
オムツなど必要物資の支給	1	母親が働く必要のないような経済支援	1
市外の認可外幼稚園の無償化	1	給料の賃上げ	1
選択肢のすべてが必要	1	高校の給食・学食提供	1
		児童手当	1
		義務教育中の制服代等の支援	1

(7) 特別な事情のある児童の育成支援

内容(未就学児童)	件数	内容(就学児童)	件数
グレーゾーンの児童への支援	2	送迎サービスの充実	1
		外国人の子どもへの学校生活における支援	1
		フリースクールなどの充実	1
		不登校児への支援	1
		選択肢に当てはまらないサポートの提供	1

2. その他の回答（一般成人調査）

Q3 (全員)	職業	その他
------------	----	-----

内容(一般成人)	件数
パート	5
医療・介護職	2
派遣社員	2
契約社員	1
会社員と自営業	1
宗教法人職員	1
生活介護施設に通っている	1
休職中	1

Q6 (全員)	家族構成	その他
------------	------	-----

内容(一般成人)	件数
親族同居	3
パートナーと同居	2

Q9 (全員)	最近では晩婚化・非婚化の傾向にあると言われていますが、その理由は何だと思えますか。	その他
------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
経済的に不安があるため	15
自身に障がいがあるため	1
結婚よりも仕事を重視する女性が増えたため	1
恋愛・結婚は自由であるという世間の流れがあるため	1
情報過多、完全主義、責任回避のため	1

Q10 (全員)	家庭での家事分担はどのようにするのがよいと思えますか。	その他
-------------	-----------------------------	-----

内容(一般成人)	件数
夫婦で相談して決めればよい	2
各家庭で決めればよい	1
夫婦で相談して、できない時には別の誰かに頼めばよい	1
専業主婦	1

Q11 (全員)	家庭内での子育て、教育はどのようにするのがよいと思えますか。	その他
-------------	--------------------------------	-----

内容(一般成人)	件数
各家庭で相談して決めればよい	2
2人でやるのが当たり前	1
子どもにとって母親は特別なので、母親が子育てに専念できるようにすべき	1
学びはその人がどう学ぶかによるもの	1
選択肢のすべてが当てはまる	1

Q12 (条件)	条件 今まで結婚したことがない方(Q4で「4. 未婚」を選択した方) あなたが現在結婚していない理由は何ですか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
これから結婚する予定のため	2
恋愛に苦手意識があるため	2
社会に苦手意識があるため	1
自身に障がいがあるため	1

Q13 (全員)	あなたの、子どもを持つことに対する考えに近いものはどれですか。	その他
-------------	---------------------------------	-----

内容(一般成人)	件数
大切な存在、頑張る理由になる	3
責任が増える	2
一般的に「幸せ」と思われるくくりに分類される	2
自然な動物の営み	1
人口減少の歯止め、自分からどのような子どもが育つのかの観察対象	1
家族にとっての幸せ	1
特になし	1

Q14 (全員)	近年、合計特殊出生率(ひとりの女性が一生の間に生む子どもの人数の平均値。令和4年の全国平均は1.26)の低下が注目され、国や県、市町村において様々な施策が行われていますが、依然として出生率は低下しています。あなたは、この原因をどのようにお考えですか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
子育てしにくい環境であるため	4
子どもが生きづらい世の中であるため	3
経済的に負担が大きい	3
メリットがないため	1
結婚する人を増やすべきだが、第二子以降の出産を促すには扶養控除を復活させるとよい	1

Q16 (条件)	条件 Q16 で「3. 理想よりも実際の子どもの数の方が少ない」を選択した方 その理由について	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
年齢的に出産が難しいため	3
不妊のため	3
子どもに障がいがあるため	1
まだ1人目が幼く、2人目を考える余裕がないため	1
コロナ禍での出産に不安があるため	1
これから生まれる予定のため	1
離婚したため	1

Q17 (条件)	条件 現在お子さんがいる方(Q5で「1.」～「5.」を選択した方) 妊娠・出産・子育てを通じて困ったことや悩んだことはありますか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
産後ケアを充実してほしい	1
不妊治療の負担が大きい	1
希望する保育園に入れるか不安	1

Q18 (全員)	次に挙げることがらのうち、どのようなことがあれば、あなたは(もっと)子どもが欲しいと思うと思いますか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
経済的な支援の充実・金銭的な余裕	7
体力・健康	2
仕事と子育ての両立支援の充実	1

Q19 (全員)	子どもたちが成長し大人になる過程で、どのような経験をつみ、 どのような力をつけるべきだと思いますか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	
生きるための思考力、行動力、思いやりの心。	
学校や習い事等での人との交流で、考え方や精神力等を身につけ自ら成長する力を養う。	
自分は自分、他人は他人であり、同じ道を歩まずとも大丈夫なことを理解させたい。	
コミュニティを通して、1人1人それぞれの価値観があることを学び、固執しない柔軟な考え方を育む。	
コーチング、自己分析で自身の強みや感情を理解できるようになる。	
基本的人権の尊重とか自己肯定感は大事だが、まず基礎学力をしっかりつけることが大事だと思う。義務教育の内容が身につけていけば人生の助けになる。	
哲学をして、コギトエルゴスムが真理だと悟ること。	
選択肢のすべてが当てはまる。年齢に応じた性教育、自己肯定感を上げる、自己・他者ともに大切な存在であると認識する、政治や税金・制度について学び考え模擬経験できるような場。	

Q20 (全員)	あなたの生活の中の、「仕事」と「家庭生活」などのうち 優先度が最も高いものをお答えください。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人・現実)	件数	内容(一般成人・希望)	件数
経済的な余裕	1	経済的な余裕	2
		学業	1

Q21 (全員)	男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、職場(企業)はど のような環境整備をするべきだと思いますか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)		件数
選択肢のすべてが当てはまる		2
育休取得により他の人に皺寄せがいかないような人員配置		2
給与・手当の増額		3
出産・育児休業のサポート、職場の理解		1
パート勤務の育休		1

Q22 (条件)	<input type="checkbox"/> 条件 Q22で「1.知っている」を選択した方 無償化の情報をどこで知りましたか。	その他
-------------	--	-----

内容(一般成人)		件数
広報・市からのお知らせ		7
保育園・幼稚園		6
職場		3
市長選挙の公約		1
助産師		1

Q23
(全員)

そう思った理由があればお答えください。

自由記述

【効果的だと思う】

内容(一般成人)	件数
経済的に助かるため	39
経済的な問題が減ると子どもを産もうと思う家庭が増えると思うため	8
いいと思うが、効果的かはわからない	7
仕事と子育ての両立がしやすくなるため	6
保育を利用しやすくなるため	3
効果的だと思うが、入園ができない	3
学費まで支援してほしい	3
子どもができた時の将来の不安が軽減されるため	1
メンタル的に助かるため	1
いいと思うが、すべての園を対象にしてほしい	1
いいと思うが、園職員への支援が必要	1
2人目以降には効果的だが、まだ子どもがいない家庭にはあまり効果がないと思う	1

【効果的だと思わない】

内容(一般成人)	件数
保育料無償化だけでは不十分なため・就学後のほうが経済的負担が大きい	15
そもそも入園ができないため	8
少子化問題とは関係ないと思うため	7
他の面での支援が必要と思うため	6
子育て支援にはなるが、少子化対策にはならない	3
無償化しても、保育の質がよくないと安心して預けられないため	2
就労支援にはなるが、少子化対策にはならない	1
子育てに対する社会全体の価値観が変わらないと効果はないと思うため	1
少子化対策には保育に至るまでの出生率を上げる必要があると思うため	1
仕事が見つからないので、保育を利用しない	1
幼稚園も同じように無償化してほしい	1
子どもへの支援ばかりではなく、老後の支援がほしい	1

Q22 (全員)	普段、子育てについてどのようなものから情報を得ていますか。	その他
-------------	-------------------------------	-----

内容(一般成人)	件数
広報	2
電車・バスの広告	2
インターネット	1
子育て包括支援センター、保健センター、児童館	1
情報を知らない	1

Q25 (条件)	条件 Q25 で「1. 思う」を選択した方 その理由をお答えください。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
遊んでいるところを見かけないため	2
自分の時よりも習い事を多くやる風潮のため	2
自由な時間が少ないため	1
本人のやりたいことが多すぎるため	1
学校が遠く、登下校に時間がかかりすぎるため	1
自分がそう感じていたため	1
学校で学んでいるのに帰ってからも塾で勉強するのなら、学校の意味がないと思う	1

Q26 (全員)	そう思う理由があればお答えください。	その他
-------------	--------------------	-----

内容(一般成人)	件数
帰宅後の生活リズムを崩さないようにしたいため	17
暗くなる前に帰宅させたいため	15
仕事が終わる時間だから	8
家で家族と過ごす時間を確保するため	5
家庭によると思う	4
安全のため	4
遅くなると心配なため	3
子どもが考える時間が必要だと思うため	1
あまりにもお迎えが遅いとかわいそうに感じるため	1
20:00より後に子供が帰っても安心な街にして欲しいという市に対するプレッシャーを込めて選択	1
子どもが親と過ごす時間は心の成長に関わると感じるため	1
まだ子どもが小さいためわからない	1

Q27 (全員)	放課後の児童について、児童が放課後を父母や親族と一緒に生活できず、1日の学校生活を終えてもすぐに家族と接することができない児童が増えています。 このような児童の成長の過程として、あなたが望ましいと思う放課後の過ごし方をお答えください。	その他
-------------	--	-----

内容(一般成人)	件数
会社側が制度を見直すべきである	2
気軽に行ける施設があるとよい	1
部活動は教師の負担を増やすべきではないので、外部協力なら賛成 しっかりと管理できる監督者が必要	1
鍵っ子であることが成長・発達に問題だとは思わない	1
選択肢のどれも望ましくない	1

Q28 (全員)	児童虐待などの子育てについての問題についてうかがいます。 虐待予防のために、あなた自身はどのようなことができると思いますか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
他所の家族と関わってもトラブルになりそうなので、あまり関わりたくない	1
自分が見た一面だけで虐待を疑い通報したり声をかけたりするのはハードルが高い。 通報することで余計に追い詰めてしまう可能性がある。また、虐待されていても子どもは親を求め るため、保護解除のときに事件が起きている印象がある。デリケートで難しい問題のため、距離を保ちな がら見守ることしかできない気がする。	1
自分の子どもとコミュニケーションをしっかりと取る、話を聞く	1
誰かに話を聞いてもらう、一度子どもと離れる時間を作る	1
通報があった場合の対応を厳しくする	1

Q29 (全員)	あなたは、地域の中で子どもたちのためにどのような活動に参加されていますか。	その他
-------------	---------------------------------------	-----

内容(一般成人)	件数
自分が自宅にいる時は、いつでも遊びに来ていいことにしている。近所の公園に頻りに顔を出してい る。登下校の時間に見守る。頼っていい存在になる。	1
塾のアルバイト	1
保育士	1
学校関係	1

Q30 (条件)	条件 Q30で「1.」～「3.」を選択した方 どのようなボランティア活動をしたいと思いますか。	その他
-------------	---	-----

内容(一般成人)	件数
ファミリー・サポート・センターへの登録	1
パトロールボランティア	1
仕事や自分の子育てを終えたら、共働き家庭の子どもを両親が帰ってくるまで見てあげたい	1
時間等に余裕ができれば参加したい	1

Q31 (全員)	児童が健全に成長するために、地域に期待することは何ですか。	その他
-------------	-------------------------------	-----

内容(一般成人)
命の大切さについて教えてあげたい。なぜ、いじめはダメなのかななどを。
柔軟で良識のある大人との対等な会話、現実的かつ前向きな情報や書籍の提供。
市が税金などを安くし、子供達がやりたいことを親が進んでできるように市が負担したりする。
「ここに来れば、何かしら時間が過ごせる」と思えるような場所をつくる。例えば、図書館や公民館の多目的室で映画視聴といったことをやることで、親の帰りが遅い、またはネグレクトを受けている子供と地域の繋がりをつくるなど。
健全な活動のため、活動者の身の上情報の把握・日本版DBSで性犯罪者を排除することは必須だと考える。核家族で祖母祖父と離れて暮らす子も多いので高齢者から昔遊びを覚えてもらう等も良いと思うが、時代錯誤な人や教育論がアップデートしてない方もいるので、事前に高齢者に研修なども必要ではないかと感じる。
市のみんなが参加出来るようなイベントや祭りを開いて、新たな交流を見つけ出す手伝いをする。いつでもお話ができるカフェとかあったらいいのになと思います。もし出来たら私が働きたいです。
子どもに対する寛容な態度。
健全でないとされる子供の親がまともに働ける場所をつくる。子供の問題をたどると親になる。親の孤立を防ぐのが良いと思う。
子供のいいところだけを評価せず、存在そのものの肯定をすること。

3. 子育てをする上で求めるサポート

未就 Q10 (条件)	就学 Q10	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。	自由 記述
-------------------	-----------	---	----------

・未就学児童

【さまざまな子育て支援について】

内容(未就学児童)	
家事代行や子どもの送迎サポート	14
ミールキットや食事の宅配サービスなどの食事サポート	5
子育ての仕方や支援に関する情報発信の充実	5
手が足りない時などにちょっとした手助けをしてほしい	5
オムツやミルクなど、必要な物資のサポート	3
ファミリー・サポート・センターの内容を拡充してほしい、もっと気軽に利用できるようにしてほしい	2
母親の負担を減らし、休息をとれるような支援がほしい	2
担当の方からの定期的な連絡があると安心する	2
子どもと遊んでくれる、子どもを見ていてくれるサービス	2
産前産後のサポートを手厚くしてほしい	2
市で行っているサービスを各家庭に合わせて提案してほしい	1
子どもの登下校時の見守り	1
安価で習い事ができるようにしてほしい	1
新しい支援を始めるよりも今ある支援を見直して改善してほしい	1
子ども用品のリユースがあるといい	1
親が正しいとは限らないので、セルフチェックできる仕組みがあるといい	1
0歳時は助産師、保健師などの専門的なアドバイスや講座がありがたかった。もう少し大きくなったら月齢が上のママさんに話が聞けるといい	1

【保育・預かりサービスについて】

内容(未就学児童)	
安心して気軽に預けられる場所がほしい	19
親の用事や体調不良の時に預けられる場所がほしい	9
6ヶ月未満児や小学生の預かり場所がほしい	4
緊急の時でもすぐに利用できる預かり場所がほしい	4
長時間・遅い時間まで預けられる場所がほしい	4
安価で預けられる場所がほしい	3
仕事で遅番の時や土日祝の出勤の時に預けられる場所がほしい	2
病院内に診察中だけ子どもを預かってくれるスペースがほしい	1
昼食付きで子どもを預かってくれる場所がほしい	1
親が病気などで預けに行けない場合の送迎をしてほしい	1
子どもが体調不良の時・怪我をした時に利用できる預かり場所がほしい	1

【相談支援について】

内容(未就学児童)	
いつでも気軽に相談できる場所がほしい	10
電話やメール、オンラインなどで相談できるようにしてほしい	5
保健センターの発達相談の枠がとれないため、相談日や人を増やしてほしい	3
子育ての仕方や困りごとに対してのアドバイスがほしい	3
相談できる場所の認知度が低いため、認知しやすくしてほしい	2
話し相手になってくれる人がほしい	2
気軽に相談できる相談員が児童館にたくさんいるといい	1
相談する時に子どもを預かってくれるサービスがほしい	1
子連れでも通いやすい相談場所がほしい	1
1年に1度、発達や育児に関して話を聞いてくれる機会がほしい	1
もっと市民に寄り添った声掛けができる職員の育成に力を入れてほしい	1

【仕事と子育ての両立支援について】

内容(未就学児童)	
働きやすい環境を整えてほしい	4
両親ともに当たり前に育児休暇を取得できるようにしてほしい	3
時短勤務や特別休暇などのサポート	3
条件関係なく、仕事中に子どもを預かってもらえる場所がほしい	2
子どもが体調不良の時、欠勤しなくてもいいようなサポートがほしい	2
子育てしている人が多く勤めている企業を紹介したり、働きやすい環境整備をしてほしい	1

【医療・健康について】

内容(未就学児童)	
体調不良の時に手助けしてくれるサービスがほしい	3
病児保育・病後児保育の充実	3
定期的な検診の充実	1
託児施設が充実した病院の拡充	1
小児救急電話相談が混みあっているため、繋がりをやすくしてほしい	1
保健師・助産師の連携をしっかりとしてほしい	1
子どもの医療費控除に手術が含まれるのかがわからない	1

【経済的支援について】

内容(未就学児童)	
金銭的なサポート	6
子ども手当の充実	2
多子世帯への支援を手厚くしてほしい	2
保育園や学校の給食費補助	1
教育費の無償化	1
課税世帯も非課税世帯も平等に支援してほしい	1
世帯によって差別せず支援してほしい。その上で意欲の高い子どもへのサポートを手厚くしてほしい	1

【保育園・幼稚園について】

内容(未就学児童)	
第二子出産や育休による退園制度を撤廃してほしい	5
保育園の定員枠を増やしてほしい	2
保育施設や保育士を増やしてほしい	2
保育園と同じように幼稚園もサポートしてほしい	1
幼稚園や学校について、校風や口コミなどの情報を得やすくしてほしい	1
手続きや申し込みなどがわからないので教えてほしい	1
子どもが全員ちがう保育園を利用しており、迎えに行くのが大変。転園を希望したが落ちてしまい、入園希望者に対し枠が足りていないと感じている	1

【イベント・集いの場について】

内容(未就学児童)	
同い年の子どもやその親が関わりを持てる場所・イベントがほしい	6
小牧市に来たばかりの人や、小牧初めてさんとベテランさんが集える場所・イベントがほしい	1
気分転換になりそうなイベントごとの企画を増やしてほしい	1
母子で参加できる企画を増やしてほしい	1
対象年齢に合わせたクラブを増やしてほしい	1

【子育て・生活の環境について】

内容(未就学児童)	
公共交通機関を充実させてほしい	2
子どもが集まって遊べる場所を増やしてほしい	2
安心して通行できる道路を整備してほしい	2
悪いことをしたら誰でも叱れるような、子どもにマナー・モラルを教えられる環境	1

【障がい児支援について】

内容(未就学児童)	
障害の有無関係なく、どの家庭でも訪問看護などの資格を持った方と話せる機会が増えるといい	1
障がい児が理解される環境	1
仲間同士、先輩後輩のコミュニティや、普段から障害者の生活が分かるような(相互理解)情報発信の場があるといい	1
障害児福祉手当の所得制限の撤廃	1
発達が不安な子どもが、支援施設を気軽に利用できるようにしてほしい	1

【その他】

内容(未就学児童)	
地域で声掛けや交流があるといい	5
自治会に子育てに関する理解を深めてほしい	2
子どもは遊べて、親は息抜きできる場所がほしい	2
オムツなどゴミが多く出るため、45 のゴミ袋がほしい	1
ひとり親のため、親に何かあった時に子どもの安否を確認してもらえるようなサポートがほしい	1
引っ越してきて地域に溶け込みづらいため、第三者がコーディネートしてくれるといい	1
小さい時から行ける地域のこども会があるといい	1
現時点で十分	1

・就学児童

【さまざまな子育て支援について】

内容(就学児童)	
塾や習い事の送迎サポート	8
家事や子育てなどのサポート	7
子育ての仕方や支援に関する情報発信の充実	5
身内が近くにいないので、頼れる存在が地域にいるといい	2
病児保育がもっと手軽に使えるようになってほしい	1
フリースクールの無償化	1
特性のある子ども、アレルギーを持つ子どもへのサポートがない	1
訪問支援の回数を各個人の希望に合わせてほしい	1
子どもが体調不良で早退する時、仕事ですぐ行けない場合の対応をしてほしい	1
育児と介護が重なった場合の支援を手厚くしてほしい	1
子ども用品のリユースがあるといい	1
働いていない母親のサポートを手厚くしてほしい	1
子ども同士でトラブルやけんかがあった場合、すぐ保護者に知らせるようにしてほしい	1
20歳までの医療費需給	1
まわりの入塾率が高いが、子どもが多いと難しいため安価で入れるサポートがほしい	1
家庭訪問	1

【親に対する支援について】

内容(就学児童)	
親への身体的・精神的なサポート	5
学年が上の保護者との交流	1
親が休息を取れるような企画	1

【保育・預かりサービスについて】

内容(就学児童)	
安心して気軽に預けられる場所がほしい	6
緊急の時でもすぐに利用できる預かり場所がほしい	3
労働時間に関係なく、仕事の時に預けられる場所がほしい	2
子どもが体調不良の時・怪我をした時に利用できる預かり場所がほしい	2
親の用事の際に預けられる場所がほしい	2
小学校高学年でも利用できる場所がほしい	1
トワイライトを設置してほしい	1

【相談支援について】

内容(就学児童)	
いつでも気軽に相談できる場所がほしい	6
子育て以外のことや些細なことでも聞いてくれる場所がほしい	4
専門家に気軽に相談できるといい	3
相談しても、的外れなことや否定的なことを言われ意味がなかったので、ちゃんと相談にのってくれる人を配置してほしい	2
相談できる場所があることを認知しやすくしてほしい	2
発達のことや不登校などを相談しやすい場所がほしい	2
定期的な相談	1
サイトなどで相談できるようにしてほしい	1
相談事に対してのアドバイスがほしい	1
少しの間子どもと離れて話を聞いてもらえる時間、場所がほしい	1
対象が未就園児という雰囲気があり近寄りづらいので、小学校高学年から中学生の思春期の子どもについての相談にのってほしい	1
身近に気軽に相談できる相手がいるのでありがたい	1

【児童クラブについて】

内容(就学児童)	
1日だけなど、条件を満たしていなくても利用できる日があるといい	2
宿題を見てもらえたり、習い事ができたりするといい	2
祝日でも利用できるようにしてほしい	1
もう少し遅い時間まで利用できるようにしてほしい	1

【仕事と子育ての両立支援について】

内容(就学児童)	
共働きがしやすい環境	2
職場、家庭、学校、子ども会や保護者会などで、働く母親への理解が欲しい	1

【経済的支援について】

内容(就学児童)	
金銭的なサポート	5
子ども手当の充実	1
教育費や給食費の無償化	1

【学校について】

内容(就学児童)	
教育指導をしっかりしてほしい	4
スクールバスを導入してほしい	2
学校のルールを家庭や子どもに合わせて柔軟にしてほしい	1
部活動を先生の負担にするのではなく、外部の指導者を取り入れてほしい	1
子どもの様子を保護者に伝えてほしい	1
商業施設・飲食店に子どもだけで出入りすることの危険性について学校から指導してほしい	1
テスト期間でも給食を食べてから下校させてほしい	1
長期休暇中の学校への送迎	1

【不登校児支援について】

内容(就学児童)	
不登校について相談できる窓口がほしい	1
不登校児の対応方法や見守り方を教えてほしい	1
不登校児を預けられる場所がほしい	1

【集いの場について】

内容(就学児童)	
放課後に宿題をしたり遊んだりして過ごせる場所がほしい	3
大人がいる中で子どもが勉強したり遊んだりして過ごせる場所がほしい	1
新しいコミュニティを作れない人や新しいコミュニティに飛び込みにくい人のために、子育て当事者の出会いや交流の場を作ってほしい	1
夏休みに食事付きで運動や学習など、ためになる体験ができる場がほしい	1

【子育て・生活の環境について】

内容(就学児童)	
子どもが集まって遊べる場所を増やしてほしい	3
公共交通機関を充実させてほしい	2
自動車を制限するなど、安心して通行できる道路を整備してほしい	2
悪いことをしたら叱ってくれる存在がいるといい	1
近所の方が温かく、とても助かっている	1

【障がい児支援について】

内容(就学児童)	
学校の先生にもっと発達障がいについて学んでほしい	1
保健センターに相談したが幼稚園までしか対応しておらず、専門の方もいなかったなので、専門の方がいるといい	1
普通の学校には障がいのある子に対するサポートが足りていない。特別支援学校に行くとそれまでの友達と離れてしまうため、障がいがあっても暮らしていける地域になってほしい	1

【その他】

内容(就学児童)	
性に関する教育	1
行政担当はいいが、苦情が直接上にいかない	1
高所得のひとり親に対する支援がない	1
地域のコミュニケーション	1
疾病に対する感染予防	1
配偶者に、子育てや家事など母親にかかっている負担を理解してほしい	1
配偶者に夫婦共働きについて、負担が平等なことをしっかりわかるような助言	1
学習補助を受けられる場所がほしい	1
子連れで行けて長居しやすいお店がほしい	1
夫の労働時間が長すぎる	1

4. 理想とする少子化対策

Q24 (全員)	あなたが理想とする少子化対策があれば、お答えください。	自由記述
-------------	-----------------------------	------

【さまざまな子育て支援について】

内容(一般成人)	件数
親に対する支援、サポートの充実	4
子どもを預けられるサービスの充実	3
家庭によって求めるサービスを選択できるようにする	1
子どもが体調不良の時に生活面もサポートしてくれるサービス	1
母親に対する負担が大きすぎるため、息抜きできるような支援をする	1

【結婚・妊娠などの支援について】

内容(一般成人)	件数
妊娠、出産にかかる費用を国が負担する	6
結婚相手との出会いの機会を増やす	3
子どもを持つことの喜びを若い世代に伝える	3
不妊治療の支援	2
結婚や出産に対しお祝い金を出す	1

【経済的支援について】

内容(一般成人)	件数
子どもがいる世帯に平等で十分な支援をする	13
大学までの学費や医療費を援助する	11
安心して生活できるよう給与を上げる	9
子どもの人数に応じて補助を手厚くする	4
税金や保険料を安くする	4
子どもと過ごす時間を増やせるように、子どもが小さいうちは補助を手厚くする	1
子どもが大きくなってからのほうがお金がかかるため、将来を見越して義務教育の間に全てを少しずつ援助する	1

【仕事と子育ての両立支援について】

内容(一般成人)	件数
フレックス勤務や在宅勤務、急な休みへの対応など子育てしやすい勤務制度を整える	2
保育環境を整える	2
両親ともに育児休暇を十分に取得できるようにする	2
自営業にも育児休業などの支援をする	1
キャリアを続けられるよう、休みやすく復帰しやすい環境を整える	1

【子育て・生活の環境について】

内容(一般成人)	件数
子どもがいる世帯への補助を増やす	2
社会全体で子育てを助けるという意識を持てるようにする	2
子どもが集まって遊べる場所を増やす	1
安全な地域社会を構築する	1
公共交通機関を充実させる	1
安心して通行できる道路を整備する	1

【保育園について】

内容(一般成人)	件数
保育士の待遇を改善して人数を増やし、入園希望者に対する受け皿を増やす	4

【その他】

内容(一般成人)	件数
若い世代が子どもや他世代の人と関わる機会を増やし、いろいろなことを学べるようにする	2
子育て世帯への支援を優先して行う	2
地域のクラブチームや習い事の費用への補助、指導者への謝礼を手厚くする	1
共に育児をする頼れる人が近くにいること	1
夫婦関係の問題	1
もっと国民に還元できるような政策を行う	1
子どもができない人もいるので、里親や養子縁組を充実させる	1
1人産むだけでも大変なので、3人目から補助を手厚くするよりもまずは1人産むことを考えられるようにする	1
男性の教育	1
子どもができることに対して不安を覚えないような支援を国が行う	1
親の所得に関係なく、子どもがやりたいことを平等にできるようにする	1
子どもを増やすよりも今いる子どもを大切にする政策を行ってほしい	1
少子化は時代の流れであるため、特にならない	1
趣味などが充実していて結婚する人が減っているため、特にならない	1

5. 子育ての環境や支援に関するご意見

・未就学児童

【さまざまな子育て支援について】

内容(未就学児童)	
親に対する支援を充実させてほしい	2
アプリの存在を知らなかったので、広く周知してほしい	1
「小1の壁」を乗り越えられるような小牧市独自の施策がほしい	1
通学路に見守りボランティアを配置してほしい	1
タクシーチケットなどを配布してほしい	1
頼れる人が他にいない状況で体調不良などになった時に支援してくれるサービスがほしい	1
働いていない親も働く親と同じように支援してほしい	1
子どもの送迎サポート	1
子ども用品のリユースがあるといい	1
4ヶ月健診や1歳の誕生日に本ではなくオムツなどの実用的なものがほしい	1
地域の方にファミサポ会員や見守りボランティアとして子育て支援をしてほしい	1
スクールカウンセリングや発達相談を待たずにすぐ対応してもらえるようにしてほしい	1

【経済的支援について】

内容(未就学児童)	
安心して生活できるよう金銭的なサポートを充実させてほしい	11
子どもがいる世帯に平等で十分な支援をしてほしい	7
大学までの学費や必要経費を援助してほしい	6
子どもの人数に応じて補助を手厚くしてほしい	3
習い事や教育に関する費用を援助してほしい	3
預かりサービスなどを安価で利用できるようにしてほしい	1
インフルエンザ予防接種の無償化	1
オムツなどの子ども用品を購入できる商品券を配布してほしい	1
子どもへの給付金ではなく、子育て中の親への給付金という名目にしてほしい	1

【保育・預かりサービス、施設について】

内容(未就学児童)	
安心して気軽に預けられるようにしてほしい	11
施設の利用時間や利用できる日(土日祝)を増やしてほしい	9
サービスを安価で利用しやすくし、安心して就労できるようにしてほしい	8
保育士の待遇を改善してほしい	8
入園希望者に対し受け皿が足りていないので、枠を増やしてほしい	8
施設の建物の古さや清潔さ、快適さが気になるので改善してほしい	5
保育園の退園制度をなくしてほしい	5
幼稚園・認可外保育所にも無償化などの支援がほしい	4
2歳以下・小学生でも預けられる場所がほしい	4
希望した園に入れるようにしてほしい	4
児童虐待が心配なので、市でしっかり対応してほしい	3
児童クラブを充実させてほしい	3
保育園やこども園など、もっと保育施設を増やしてほしい	3
入園日と育休復帰日を同日にするのは現実的に難しいのでやめてほしい	2
保育園の駐車場が狭く、道路を渡らないといけないので改善してほしい	2
一時保育の非定期利用を無償にしてほしい	1
親が仕事をしなくても預けられるようにしてほしい	1
制度や施設の運営を見直し、人員を増やしたり支援したりしてほしい	1
未就学児にも、児童館などで定期的なクラブのようなものがあるといい	1
食事付きで預かってくれるようにしてほしい	1
一時預かりの利用金額を月初めにまとめて支払うが、体調不良などで休んだ分の返金がされない。病院の領収書などの証明を提出したら休んだ分は返金されるようにしてほしい	1
親が病気などで預けに行けない場合の送迎をしてほしい	1
お道具箱などが共用になるが、子どもにとっては残念かもしれないと思う	1
今後も保育料無償化を継続してほしい	1
育休中に退職しても預けられるようにしてほしい	1
放課後に子どもを預かってくれる、児童クラブ以外の場所がほしい	1
保育環境の整備を地域格差が出ないように平等に行ってほしい	1
保育園に欠席連絡のアプリを導入してほしい	1
使用したオムツの回収やオムツのサブスクを導入してほしい	1

【仕事と子育ての両立支援について】

内容(未就学児童)	
安心して働けるよう、預かりサービスの利用条件を柔軟にほしい	8
フレックス勤務や在宅勤務、急な休みへの対応など子育てしやすい勤務制度を整えてほしい	2
育休からの復職を支援するサービスがほしい	1
自営業やフリーランスにも会社員と同じような支援をしてほしい	1

【子育て・生活の環境について】

内容(未就学児童)	
子どもが自由に遊べる広くてきれいな公園を作してほしい	15
室内の遊び場を増やしてほしい	4
公共交通機関を充実させてほしい	4
安心して通行できるきれいな歩道を整備してほしい	3
安心安全な通学路を整備してほしい	3
商業施設のお店を充実させてほしい	2
工場地帯と住宅地を繋げて散歩ができるようにしてほしい	1
外国人が増えて、マナーや治安が心配	1
中学校や高校、習い事など、教育環境を充実させてほしい	1
子どもが安心安全に過ごせる環境づくりをしてほしい	1
小牧市は子育てしやすい環境だと思う	1

【学校について】

内容(未就学児童)	
小学校が遠いので、スクールバスを導入してほしい	2
荷物が多いので、学校に置いていったり少しずつ持っていったりできるようにしてほしい	2
安心安全な通学路を整備してほしい	2
近くに小学校があるのに別の遠い小学校に通わなくてはならないため、学校を選択制にしてほしい	1
学校が老朽化しているので改築してほしい	1
インターナショナルスクールや私立の学校を設立してほしい	1
哲学や宗教を学べるようにしてほしい	1
教師のレベルを揃えてほしい	1
市内の高校の偏差値を上げてほしい	1
小学校の情報が少ないので、収集しやすくしてほしい	1
教師からのいじめがないようにしてほしい	1
算数セットや体育館シューズなど使用頻度の低いものは購入しなくていいようにしてほしい	1
幼稚園、小学校との金銭のやり取りを現金のみにするのをやめてほしい	1
みんなが同じことをするのではなく、子ども主体な教育を受けられるようになってほしい	1

【医療・健康について】

内容(未就学児童)	
病児保育が利用しにくいので、利用しやすくしてほしい	4
小児科が少なくいつも混雑しているので、数を増やしてほしい	2
市外に行かなくてもいいように、市内でもっといろんな病気に対応できるようにしてほしい	1
小児向けの救命講習を市で主催してほしい	1

【障がい児支援について】

内容(未就学児童)	
子どもを預けて相談ができる場所がほしい	2
発達の相談が混み合っているので、相談日を増やしてほしい	1
学習障がい児やグレーな子どもが行ける施設がほしい	1
グレーゾーンの子どものためのクラスを設けてほしい。もしくは普通学級の中で常に支援をしてくれる方を配置してほしい	1
障がい児も健常児と同じように保育園や児童クラブに入れるようにしてほしい	1
障がい児に療育を行う児童発達支援・放課後デイサービス等の施設を増やしてほしい	1
自閉症の子供がいると就労時間に制限がかかり、経済面でかなり不安定なので支援してほしい	1
保育園や幼稚園に入園を断られることなく、働いていても通える療育、当たり前に通える園があるようにしてほしい	1

【その他】

内容(未就学児童)	
市民・子育て世帯が増えるよう、子育てしやすい環境を整備してほしい	3
子ども同士で交流の幅を広げられる機会がほしい	2
オムツなどゴミが多く出るため、45 のゴミ袋がほしい	2
歩きたばこをやめてほしい	1
いくら子育て環境が整っていても、近くに祖父母など頼れる親族がいるということには勝てないと感じる	1
子ども会や PTA への参加を強制ではなく任意にしてほしい	1
自治会活動の見直しをしてほしい	1
大人になった時のために社会のルールを教えていく必要がある	1
在宅ワークを推奨して、通勤ラッシュや車移動を減らしてほしい	1
親世代の気概を高めるような見本を上世代が示すこと、少子高齢化について小学生に学ばせること、教育レベルの向上のため教師・保育士の給料を上げることが必要	1
親と子供がいっしょに体験できることがあるといい	1
食育と足育に力を入れてほしい	1
市の講座の条件が小学生以上のものでしかないため、未就学児のものも増やしてほしい	1
子育てを市の PR の名目とするだけでなく、どんな子どもが育っているのかを見てほしい。不登校児やマナーの悪い若者が多いと感じている。幼児期以降もフォローしてほしい	1
将来の不安なく過ごしていけるようになってほしい	1
市役所の職員の質を高くしてほしい	1
子どもを国の宝として育てていくという環境を育ててほしい	1
お絵描き教室や工作教室、作品展などの体験イベントがあるといい	1
子どもを預けてお菓子作りやヨガができるイベントを月1回のペースで開催してほしい	1
アンケートをやるなら何かしらの施策や効果をちゃんと出してほしい	1
給食費を半額負担すると言われても、学校側から減額のお知らせがないので減額の実感がない	1
学校にいけない子どもたちが過ごせる場所や選択肢を充実させてほしい	1
子どもがごはんを食べなくて困っているので給食のレシピを配布してほしい	1
家庭保育期間に子どもを預けると罪悪感があるため、家庭保育期間をもう少し短くしてほしい	1
年少以降の相談の場を増やしてほしい	1

・就学児童

【さまざまな子育て支援について】

内容(就学児童)	
子育ての仕方について教えてくれるような支援がほしい	2
家族以外に頼れる存在がほしい	1
児童の下校時に見守りサポートがほしい	1
塾などの送迎をしてくれる子育てタクシーを導入してほしい	1
些細なことでも相談できる場所の案内がほしい	1
家事代行サービスがほしい	1
車を運転できなくても行きやすい預け場所がほしい	1
体調不良でも受け入れを拒否されない預け場所がほしい	1

【経済的支援について】

内容(就学児童)	
子どもがいる世帯すべてに平等な支援をしてほしい	5
大学までの学費などを援助してほしい	4
児童手当を増額してほしい	2
スポーツや塾などに補助がほしい	1
体操服や制服を無償化してほしい	1
共働きできる環境を整え、世帯収入が増やせるようにしてほしい	1
働くほど子どもと過ごす時間が減ってしまうので、経済的に余裕があるといい	1
金銭的サポートがほしい	1
給食費無償化はとても助かっている	1

【学校について】

内容(就学児童)	
わからないところを塾などで補わなくても十分に理解できるような教育をしてほしい	2
授業で使う教材を市で一括購入したり貸出制にするなどして、経済的負担を減らしてほしい	2
耐震や清掃など、学校の施設整備をしっかりやってほしい	2
スクールバスを導入してほしい	2
荷物が多いので、学校に置いていたり少しずつ持っていきたりできるようにしてほしい	2
感染症や熱中症の対策を学校できちんと立ててほしい	2
不登校児へのサポート、対応を柔軟にほしい	1
学級閉鎖の時など、もっとタブレットを有効活用してほしい	1
幼稚園・保育園から小学校までの流れなどの説明会を市で開催してほしい	1
宿題を形式的で義務的なものではなく、子どもが自分で考えてできるようなものにしてほしい	1
教育や部活動を専門の人に指導してもらえる機会を増やしてほしい	1
登下校が心配なので一斉下校にしてほしい	1
いじめがあった場合、初期から親身に対応するようにしてほしい	1

【児童クラブについて】

内容(就学児童)	
児童クラブで弁当を用意してほしい	2
子どもが自分で足を運べるような安全な場所にしてほしい	2
休暇中の利用開始時間を学校の登校時間と同じにしてほしい	1
多子世帯だけでなく一人っ子の世帯にも補助を出してほしい	1
トイレや水分補給を自由にできるようにしてほしい、有意義な時間を過ごせるようにしてほしい	1

【仕事と子育ての両立支援について】

内容(就学児童)	
キャリアが継続できるよう支援してほしい	2
企業側の理解が重要だと思う	1
共働きが祖父母の協力が前提で成立するようなシステムになっているので、もっと仕事と両立しやすい子育て支援を行ってほしい	1
子どもの体調不良で仕事を休む時、有給ではなく特休にしてほしい。休みやすい環境を整備してほしい	1

【子育て・生活の環境について】

内容(就学児童)	
幅広い年代が利用できる公園や遊び場を増やしてほしい	4
公共交通機関を充実させてほしい	4
自動車を制限するなど、安心して通行できる道路を整備してほしい	3
子どもだけで留守番をしたり遊びに行ったりできる、安心して暮らせる環境になってほしい	3
人も環境も充実した子育て環境を整備してほしい	1
みらい館のような施設がもっと増えてほしい	1
不審者情報について、特徴やその後捕まったのかなども教えてほしい	1

【その他】

内容(就学児童)	
サービス・環境が充実していてありがたい	2
通常級での勉強が難しい子は無理に通常級に入れず、他の場で学べるようにしてほしい	1
支援級の先生はちゃんと資格・知識がある人にしてほしい	1
不妊治療には保険適用外の治療が多くあるので、補助が受けられるようにしてほしい	1
母子家庭への支援をもう少し手厚くしてほしい	1
学校図書館に専任の人材を配置するなどして、子ども大人も開かれたコミュニティとして利用できるようにしてほしい	1
いつでも気軽に意見を伝えられるツールが欲しい	1
ジェンダー問題への対応を子どもの安全を第一に考えて行ってほしい	1
子どもは周囲の大人を手本としているので、大人の再教育が必要だと思う	1
見えないところで支援を必要としている親がいるので、そこまで支援ができるといい	1
コロナの時子どもに我慢を強いてしまったので、反省し子どもを守れるような市になってほしい	1
地域ごとに統一されたルールがないので、地域の人を集めてルールを一新してもいいと思う	1
お金に関する教育が受けられるようにしてほしい	1
先生やサービス従事者の負担を増やさず、バランスのいい支援策を立案してほしい	1

・一般成人

【さまざまな子育て支援について】

内容(一般成人)	
無料の育児相談の場を設けてほしい	1
相談しやすく返事が早い LINE などの相談システムがあるといい	1
支援の情報が得られていないので、郵送などで案内してほしい	1
訪問で身体測定や相談、育児支援を行ってもらえるといい	1
子育てに対してもっと支援し、未来ある子どもを大切にしてほしい	1

【経済的支援について】

内容(一般成人)	
金銭的なサポートを充実させてほしい	4
世代によって支援の格差が生まれるため、その差を埋める制度を作してほしい	2
教育費の負担を減らしてほしい	2
税金を減らして経済的に余裕が持てるようにしてほしい	1
出産・育児にかかる費用の負担を減らしてほしい	1

【保育・預かりサービス、施設について】

内容(一般成人)	
入園希望者に対し受け皿が足りていないので、枠を増やしてほしい	3
安全な道路を整備し、子どもだけでも通えるようにしてほしい	2
保育園の数を減らさず、増やしてほしい	1
育休退園制度を廃止してほしい	1
先生にストレスがたまり子どもに当たってしまわないよう支援してほしい	1
児童館を地域ごとに増やしてほしい	1
児童クラブなどで部活動に近いことができるといい	1

【仕事と子育ての両立支援について】

内容(一般成人)	
育休手当をもらえる期間をもう少し伸ばしてほしい	1
子どものことで休むこと、男性が休みを取ることに理解のある職場環境を整備してほしい	1

【子育て・生活の環境について】

内容(一般成人)	
球技禁止の公園が多いため、自由に遊べる公園や屋内遊び場を充実させてほしい	4
子ども中心のイベントが増えてほしい	3
子どものバス料金を無償化してほしい	2
子どもが安心安全に過ごせる環境づくりをしてほしい	1
公園に誰もいないことが多く寂しいと感じている	1
工場が増えてのびのび子どもを育てられないと感じている	1

【学校について】

内容(一般成人)	
学校の施設整備をしっかりとってほしい	2
ランドセルではなく、軽くて安いリュックなどにしてほしい	2
学校が遠いので、自転車登校ができるようにしてほしい	1
学校が遠い上に通学路が安全ではないため、ちゃんと整備してほしい	1
放課後の活動は教師が関わらないようにし、教師の負担を減らしてほしい	1
部活動から学ぶことは多いと思うので、廃止にしないでほしい	1
時代に合わせてアップデートしてほしい	1
タブレットのタッチペン使用の可否を全体で統一してほしい	1
タブレットで匿名相談ができるようにしてほしい	1
給食の牛乳瓶は重く、片付けの際飲み口を触ってしまい衛生的によくないと思う	1
休暇中の宿題が多すぎるので、もう少し減らしたほうがいいと思う	1

【障がい児支援について】

内容(一般成人)	
障がいに関する情報紙を置いたり、気軽に参加できる相談会を開催してほしい	1
障がいなどで登校できない子どもの居場所を作ってほしい	1
障がいがある子どもにも平等な支援をしてほしい	1
発達の乏しい子どもを受け入れる場所がもう少しあってもいい	1

【その他】

内容(一般成人)	
小牧市の子育て支援に感謝している	2
小学校から公共機関や施設でのマナーを教えるようにしてほしい	1
子どもが対人関係を学ぶことで犯罪に巻き込まれるリスクを減らせるよう、不特定多数とコミュニケーションを取る機会が必要だと思う	1
インターネットのトラブルを取り返しのつくうちに経験させるべきだと思う	1
子ども会活動が負担なので参加を任意にしてほしい	1
子ども会に参加する・しないことでのメリット・デメリットを教えてほしい	1
体外受精も補助金対象にしてほしい	1
地域の保健委員訪問について、育児の知識や価値観が今の時代に合っていないことがあるので制度を改善してほしい	1
未来のために子どもは必要不可欠だという意識を全員が理解し、手を携えていけるようになってほしい	1
親に限らず、大人が子どもに信頼と愛情を持って関係を築くことが大切だと感じている	1
引き続き子どものために税金を使ってほしい	1
無償化などの経済支援はわかりやすく、ありがたいが根本的解決にはならないと感じている	1
県や市に任せるのではなく、国が社会保障をちゃんと少子化について考える必要がある	1
住む街を決める要因の一つが子育て支援に強い街かどうかだと思う	1
少子化による人口減少に歯止めをかけるためにも、引き続き子育て支援に取り組むことが重要	1
子どもがいない世帯にはこのようなアンケートは送らないでほしい	1
古い考え方を捨て、子育て世帯に寄り添えるといい	1
独身で子どものいない世帯は子育て、高齢者だけに支援していることをよく思わない人もいると思う	1

小牧市 子ども・子育てに関するアンケート調査
【結果報告書】

令和6年4月

発行:小牧市

編集:小牧市 こども未来部 こども政策課

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

TEL:0568-76-1129